

# 立岩区画排水機場改良関連工事

図 面 目 録		
通し番号	図面番号	
1	A-00	表紙・図面目録
2	特-01	特記仕様書(1)
3	特-02	特記仕様書(2)
4	特-03	特記仕様書(3)
5	特-04	特記仕様書(4)
6	A-01	仕上表、面積表
7	A-02	案内図、配置図兼平面図
8	A-03	立面図
9	A-04	平面詳細図、断面図
10	A-05	断面詳細図(1)、展開図(1)
11	A-06	断面詳細図(2)、展開図(2)
12	A-07	各伏図・建具表
13	A-08	看板案内図(案)
14	S-01	各伏図、軸組図、各リスト
15	S-02	壁配筋図、雑配筋図
16	E-01	電気設備図
17	W-01	配置図、凡例
18	W-02	便所詳細図
19	W-03	浄化槽詳細図(1)
20	W-04	浄化槽詳細図(2)
21	W-05	浄化槽詳細図(3)
22	W-06	浄化槽詳細図(4)
23	W-07	浄化槽詳細図(5)
24	W-08	浄化槽詳細図(6)

	IZUMI SEKKEISHITU	工事名称	立 岩 区 画 排 水 機 場 改 良 関 連 工 事	図面名称	表 紙 ・ 図 面 目 録	縮 尺	—
		(株) 泉 設 計 室		1級建築士登録 第237012号 管理建築士 泉 真治			A-00
		〒772-0002 徳島県鳴門市撫養町斉田字浜端西6-1		TEL・FAX 088-685-9345			
				事務所登録番号 徳島県知事登録第51049号			

項 目		特 記 事 項		特 記 事 項		特 記 事 項																	
一 章  一 般  共 通 事 項	I. 工事概要			⑦ 下請負人の選定	◎受注者は、本工事の一部を下請に付する場合は、工事の施工に十分な能力と経験を有した者を選定すること。		◎受注者は、高さが2m以上の箇所で作業を行う場合は、墜落防止に留意し、作業日毎に「墜落防止チェックシート」を活用して点検を行い、その記録を保管すること。																
	1. 工事名称	立岩区画排水機場改良関連工事					◎仮囲いを設置する場合は、設置後に点検を行い、その記録を保管すること。																
	2. 工事場所	鳴門市撫養町立岩																					
	3. 建物概要	<table><tr><td>建物名称</td><td colspan="3">さわやかトイレスタダくん</td></tr><tr><td>構造・規模</td><td colspan="3">鉄筋コンクリート造（一部木造） 地上1階</td></tr><tr><td>延床面積</td><td colspan="3">29.12（m2）</td></tr><tr><td>建築面積</td><td colspan="3">31.08（m2）</td></tr></table>			建物名称	さわやかトイレスタダくん			構造・規模	鉄筋コンクリート造（一部木造） 地上1階			延床面積	29.12（m2）			建築面積	31.08（m2）					◎上下作業や直下階の施設を利用しながらの直上階（天井）のスラブはつり工事は、原則禁止とする。やむを得ず行う場合は、飛来落下の危険を生じるおそれがあるため、適切な防護措置を講じ安全確保を図り、施工手順について監督員の承諾を得たうえで、指定された時間に行うこと。
	建物名称	さわやかトイレスタダくん																					
	構造・規模	鉄筋コンクリート造（一部木造） 地上1階																					
	延床面積	29.12（m2）																					
	建築面積	31.08（m2）																					
	4. 工事種目	<table><tr><th>種 目</th><th>工 事 概 要</th></tr><tr><td>建築一式工事</td><td>撤去・解体工事</td></tr><tr><td>電気一式工事</td><td>撤去・解体工事</td></tr><tr><td>管一式工事</td><td>撤去・解体工事</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>			種 目	工 事 概 要	建築一式工事	撤去・解体工事	電気一式工事	撤去・解体工事	管一式工事	撤去・解体工事							⑧ 施工体制台帳及び施工体系図	(1)施工体制台帳の作成 受注者は、下請契約（以下の③及び④の場合を含む。）を締結した場合は、施工体制台帳及び再下請負通知書（以下「施工体制台帳」という。）を自らの責任において作成・保存するとともに、施工体制台帳を工事現場に備え置かなければならない。 (2)施工体系図の作成及び揭示 受注者は、下請契約（以下の③及び④の場合を含む。）を締結した場合は、各下請負者の施工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律に従って、工事関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所に掲げなければならない。 (3)警備業者の記載 受注者は、交通誘導警備員を配置するときは、警備業者を含めて施工体制台帳及び施工体系図を作成・保存しなければならない。 (4)運搬業者の記載 受注者は、土砂等を運搬する大型自動車を配置するときは、運搬業者を含めて施工体制台帳及び施工体系図を作成・保存しなければならない。 (5)施工体制台帳及び施工体系図の提出 受注者は、施工体制台帳の写し及び施工体系図の写しを、下請契約を締結したときは下請契約日から、内容に変更が生じたときは変更が生じた日から、いずれも土曜日、日曜日、祝日等を除き14日以内に監督員に提出し、確認を受けなければならない。 ただし、提出日について、監督員が承諾したときはこの限りではない。 (6)再下請負通知書を提出する旨の書面の揭示 受注者は、再下請負通知書を提出する旨の書面を、工事現場の公衆が見やすい場所に掲示しなければならない。		◎作業にあたって労働災害、公衆災害の事故リスクと対応方法について監督員と協議すること。  ◎既設配管等を破損させた場合の停電、断水等の影響範囲及び破損防止のための対策について関係者と協議すること。  ◎事故により、停電、断水等が発生することを考慮し、施設休業日に作業するなど、作業日を施設管理者と協議すること。	
	種 目	工 事 概 要																					
建築一式工事	撤去・解体工事																						
電気一式工事	撤去・解体工事																						
管一式工事	撤去・解体工事																						
5. その他						◎給水管近傍の作業で給水管を破損する恐れがある場合は、給水バルブの止水状況を確認するとともに、事故による漏水に備えて直下階や近傍の重要備品について養生や移設について協議すること。																	
II. 工事共通仕様書						⑪ 交通安全管理	◎輸送災害の防止 受注者は、工事用車両による土砂、工事用資材、機械等の輸送を伴う場合は、関係機関と打合せを行い、交通安全に関する担当者、輸送経路、輸送期間、輸送方法、輸送担当者、交通誘導員の配置、標識、安全施設等の設置場所その他安全輸送上の事項について計画を立て、災害の防止を図らなければならない。特に、輸送経路にある既設構造物に対して損害を与えるおそれがある場合は、当該物件およびその位置と必要な措置について工事着手前に監督員に報告しなければならない。																
① 適用基準	図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の下記による。 ○ 公共建築工事標準仕様書（建築工事編） 令和7年版（以下「標仕」という。） ○ 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編） 令和7年版 ○ 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編） 令和7年版 ○ 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編） 令和7年版（以下「改標仕」という。） ○ 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編） 令和7年版 ○ 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編） 令和7年版 ○ 木造建築工事標準仕様書 令和7年版 ○ 建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）・同解説 令和5年版 ○ 建築工事標準詳細図 令和4年版（以下「標準図」という。） ○ 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編） 令和7年版 ○ 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編） 令和7年版 ○ 敷地調査共通仕様書 令和4年版 また、次の図書（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）を参考とする。 ① 建築工事監理指針（令和7年版）（以下「監理指針」という。） ② 建築改修工事監理指針（令和7年版） ③ 電気設備工事監理指針（令和7年版） ④ 機械設備工事監理指針（令和7年版）			⑨ 電気保安技術者等	◎電気保安技術者は次の者とし、必要な資格又は同等の知識及び経験を証明する資料により、監督員の承諾を受けること。 ・事業用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、その電気工作物の工事に必要な電気主任技術者の資格を有する者又はこれと同等の知識及び経験を有する者とする。 ・一般用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、第1種又は第2種電気工事士の資格を有する者とする。	◎工事用電力設備の保安責任者を関係法令に従って有資格者を定め、監督員に報告すること。	◎発生材の処理等は、次により適正に行う。 (1)工事による発生材のうち、文化財保護法に基づく物及び有価材と判断される物については、報告及び引き渡しを要する。 (2)上記以外の発生材は、建設工事に係る資材の再生資源化等に関する法律、資材の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設副産物適正処理推進要綱その他関係法令等に従い処理すること。受注者は、工事で発生する産業廃棄物を保管する場合、または自ら運搬する場合等においては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の規定を遵守すること。図書に表示のないものについては、監督員に報告し指示を仰ぐこと。																
② 優先順位	設計図書の優先順位は、次の順とする。 ① 質問回答書（②から⑤に対するもの） ② 補足説明書 ③ 特記仕様書（営繕工事共通仕様書を含む） ④ 図面 ⑤ 公共建築工事標準仕様書等				◎工事の施工に伴う災害及び公害の防止は、建築基準法、労働安全衛生法、騒音規制法、振動規制法、大気汚染防止法、建設工事公衆災害防止対策要綱（令和元年9月2日付け国土交通省告示第496号）、建設副産物適正処理推進要綱（平成5年1月12日 建設省建経発第3号）その他関係法令に従い適切に処理すること。	◎工事現場における現場代理人、監理技術者、主任技術者の確認のため名札を着用すること。名札には現場代理人、監理技術者、主任技術者の別、氏名、会社名、工事名を記載し、顔写真を添付すること。	⑫ 発生材の処理等																
③ 工事実績データの登録	(1) 受注者は、請負代金額が500万円以上の工事については受注・変更・しゅん工・訂正時に、工事実績情報サービス（コリンズ）に基づき、工事実績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し監督員に提出して内容の確認を受けた上、次の期限までに登録機関に登録しなければならない。 (a) 受注時は、契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き14日以内とする。 (b) 登録内容の変更時は、変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き14日以内とする。 (c) しゅん工時は、工事しゅん工承認後、土曜日、日曜日、祝日等を除き14日以内とする。 (d) 訂正時は、適宜とする。 なお、変更登録は工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、請負代金額のみの変更の場合は、原則として登録を必要としない。 (2) 受注者は、実績登録完了後、登録機関発行の「登録内容確認書」が受注者に届いた際には、速やかに監督員に提示しなければならない。 なお、変更時としゅん工時の間が14日間に満たない場合は、変更時の提示を省略できる。				◎地下埋設物への影響が予想される場所では、施工に先立ち、原則として試掘を行い、当該埋設物の種類、位置（平面・深さ）、規格、構造等を確認しなければならない。	◎受注者は、重量が100kg以上のものを貨物自動車に積み作業（ロープ掛けの作業及びシート掛けの作業を含む。）又は貨物自動車から卸す作業（ロープ解きの作業及びシート外しの作業を含む。）を行うときは、当該作業を指揮する者を定め、監督員に報告しなければならない。	◎アスベスト (1)解体前に大気汚染防止法に基づくアスベスト等の特定建築材料に該当するものが使用されていないか調査し、あれば監督員の指示に従うこと。既存の分析調査結果がある場合は、受注者がその結果を書類等により確認すること。なお、工事内容に変更がある場合においても同様とする。 既存の分析調査結果の貸与（（あり）・なし）。 (2)事前調査を公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）1.5.1及び大気汚染防止法により行うこと。 ・調査結果を石綿事前調査結果報告システムにより、労働基準監督署及び自治体に報告すること。監督員へも結果を提出するとともに、その写しを工事の現場に備え置くこと。 ・調査結果は3年間保存すること。 ・調査結果の概要を公衆が見やすい場所に掲示すること。 ・分析によりアスベスト含有調査を行う場合は、JIS A 1481-1によること。 (3) 表示、揭示は次のとおり行うこと。 ・事前調査結果の概要を公衆が見やすい場所に掲示する。 ・「建築物等の解体等の作業に関するお知らせ」を労働者及び周辺住民の見やすい場所に掲示する。 ・作業に従事する労働者への注意事項を見やすい場所に掲示する。 ・喫煙及び飲食の禁止並びに関係者以外の立入禁止について、作業場の見やすい箇所に掲示する。																
④ 工程表	受注者は、契約書に基づく工程表を提出すること。				◎受注者は、機械等を貨物自動車に積み込む作業又は貨物自動車から卸す作業を行う場合は、当該作業を指揮する者を定め、指揮者の合図により行わなければならない。また、作業状況について、写真等の資料を整備及び保管し、監督員の請求があったときは、直ちに提示しなければならない。																		
⑤ 工事の着手	受注者は、設計図書に定めのある場合、又は特別の事情により発注者の承諾があった場合を除き、工事開始日以降30日以内に工事に着手しなければならない。 なお、工事開始日は、契約書に明示した着工の日（特記仕様書において着工の日を別に指定した場合にあっては、その日）をいう。				◎受注者は、輸送経路等において上空施設への接触事故を防止するため、重機回送時の高さ、移動式クレーンのブームの格納、ダンプトラックの架台の下ろし等について、走行前に複数の作業員により確認しなければならない。																		
⑥ 施工計画書等	◎施工に先立ち、実施工程表、工事の総合計画をまとめた総合施工計画書及び工種別施工計画書並びに施工図等を作成し、監督員の承諾を受けること。  ◎上記の施工計画書には、「地下埋設物等の近接作業に関する事項」を設けること。  ◎施工図、現寸図、見本等を、工事の施工に先立ち作成し、監督員の承諾を受けること。			⑩ 施工中の安全確保	◎受注者は、トラック（クレーン装置付）を使用する場合は、上空施設への接触事故防止装置（ブームの格納忘れを防止（警報）する装置、ブームの高さを制限する装置等）付きの車両を原則使用しなければならない。なお、使用できない場合は事前に監督員と協議を行うこと。  ◎休日、夜間に作業を行う時は、事前に「休日・夜間作業届」を監督員に提出すること。  ◎受注者は、工事期間中安全巡視を行い、工事区域及びその周辺の監視あるいは連絡を行い、安全を確保するとともに工事現場における盗難防止の観点から、資機材の保管状況等についても併せて確認すること。また、監督員から「資機材保管計画書」（自由様式）の提出を求められた場合には、速やかに提出すること。																		

IZUMI SEKKEISHITU			工事名称	立 岩 区 画 排 水 機 場 改 良 関 連 工 事	図面名称	特 記 仕 様 書（1）	縮尺	—
			(株) 泉設計室		1級建築士登録 第237012号 管理建築士 泉 真治			
			〒772-0002 徳島県鳴門市撫養町斉田字浜端西6-1		事務所登録番号 徳島県知事登録第51049号			
			TEL・FAX 088-685-9345					

章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項										
一 章  一 般 共 通 事 項		◎建設リサイクル法通知済証の掲示 受注者は、建設リサイクル法に基づく対象建設工事（特定建設資材を用いた建築物に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が建設リサイクル法施行令で定める基準以上のもの）においては、工事現場の公衆の見やすい場所に工事着手日までに「建設リサイクル法通知済証」を掲示し、工事しゅん工検査が終了するまで存置しておかなければならない。 また、「建設リサイクル法通知済証」は契約締結後から工事着手日までの期間に発注者から支給することとする。  ◎資源の有効な利用の促進に関する法律（以下「資源有効利用促進法」という。）及び建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（以下「建設リサイクル法」という。）に基づく対応は、以下のとおり行うこと。 (1) 受注者は、資源有効利用促進法に基づく建設業に属する事業を行う者の再生資源の利用に関する判断の基準となるべき事項を定める省令（H3.10.25建設省令第19号）第8条で規定される工事又は建設リサイクル法施行令第2条で規定される工事（以下「一定規模以上の工事」という。）において、コンクリート（二次製品を含む。）、土砂、碎石、加熱アスファルト混合物又は木材を工事現場に搬入する場合には、（一財）日本建設情報総合センターの建設副産物情報交換システム（以下「COBRIS」という。）により再生資源利用計画書を作成し、監督員に提出すること。 (2) 受注者は、資源有効利用促進法に基づく建設業に属する事業を行う者の指定副産物に係るの促進に関する判断の基準となるべき事項を定める省令（H3.10.25建設省令第20号）第7条で規定される工事又は一定規模以上の工事において、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物を工事現場から搬出する場合には、COBRISにより再生資源利用促進計画書を作成し、監督員に提出すること。 (3) 受注者は、上記計画書を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）すること。 (4) 受注者は、上記計画書に変更が生じた場合は、速やかに計画を変更し、その変更の内容を監督員に報告すること。 (5) 受注者は、工事完了後速やかにCOBRISにより再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を作成し、監督員に提出すること。 (6) 受注者は、上記計画書及び実施書を工事完成後5年間保存すること。 (7) 受注者は、COBRISの入力において、資源の供給元及び搬出する副産物の搬出先について、その施設名、施設の種類及び住所を必ず入力すること。ただし、バージン材を使用する生コンクリート及び購入土を除くものとする。  ◎受領書の交付 受注者は、土砂を再生資源利用計画書に記載した搬入元から搬入したときは、法令等に基づき、速やかに受領書を搬入元に交付しなければならない。  ◎再生資源利用促進計画書を作成する上での確認事項等 受注者は、再生資源利用促進計画書の作成に当たり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、工事現場内の土地の掘削その他の形質の変更に関して発注者等が行った土壌汚染対策法等の手続き状況や、搬出先が盛土規制法の許可地等であるなど適正であることについて、法令等に基づき確認しなければならない。 また、確認結果は再生資源利用促進計画書に添付し監督員に提出するとともに、工事現場において公衆の見やすい場所に掲げなければならない。  ◎建設発生土の運搬を行う者に対する通知 受注者は、建設現場等から土砂搬出を他の者に委託しようとするとき、特記に土工事の記載がある場合は「建設発生土の処理」に定められた事項等（搬出先の名称及び所在地、搬出量）と、前項で行った確認結果を、委託した搬出者に対して、法令等に基づいて通知しなければならない。  ◎建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求等 受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画書に記載した搬出先へ搬出したときは、法令等に基づき、速やかに搬出先の管理者に受領書の交付を求め、受領書に記載された事項が再生資源利用促進計画書に記載した内容と一致することを確認するとともに、監督員に写しを提出しなければならない。  ◎本工事に使用する建築材料、設備機材等（以下「建材等」という）は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとする。  ◎受注者は、建材等の発注の際には、発注前に、品質及び性能に関して記載された工種別施工計画書及びその証明となる資料を監督員へ提出しなければならない。ただし、設計図書に定めるJIS又はJASの材料で、JIS又はJASのマーク表示のあるものを使用する場合又はあらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 なお、各専門特記仕様書中、「評価名簿による」と記載されているものは、一般社団法人公共建築協会発行の「建築材料等評価名簿（最新版）」及び「設備機材等評価名簿（最新版）」記載品を指すものとする。  ◎製材等（製材、集成材、合板、単板積層材）、フローリング、再生木質ボード（パーティクルボード、繊維板、木質系セメント板）については、合法性に係る確認（「産地認証」及び「品質認証」を含む。）が行われたものを使用する。ただし、機能上、需給上など正当な理由により確保が困難であり、使用できない場合には監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。 また、それらの木質又は紙の原料となる原木についての合法性に係る確認は、林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン（平成18年2月15日）」に準拠して行うものとし、監督員に合法証明書を提出するものとする。ただし、平成18年4月1日より前に伐採業者が加工・流通業者等と契約を締結している原木に係る合法性の確認については、平成18年4月1日の時点で原料・製品等を保管している者が証明書に平成18年4月1日より前に契約を締結していることを記載した場合には、上記ガイドラインに定める合法な木材であることの証明は不要とする。  ◎標仕等に記載されていない特別な材料の仕様・工法は、監督員の承諾を受けて、当該製品の仕様及び指定工法による。	14 化学物質を発散する建築材料等	◎県内産再生碎石の原則使用 受注者は、再生碎石を使用する場合、県内の再資源化施設（廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）第15条第1項に基づく許可を有する施設（同法第15条の2の6第1項に基づく変更の許可において同じ。））で製造された再生碎石を原則として使用しなければならない。  ◎アスファルト舗装の材料 受注者は、加熱アスファルト混合物を使用するときは、原則として、「徳島県土木工事用生アスファルト合材の品質審査要綱」に基づき工場認定を受けた県内の工場から出荷された合材を原則として使用しなければならない。  ◎本工事に使用する建築材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の（1）から（5）を満たすものとする。 (1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板及び仕上げ塗材は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 (2) 保温材、緩衝材、断熱材は、ホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 (3) 接着剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない揮発性の可塑性剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 (4) 塗料（塗り床を含む）は、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 (5) (1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。  ◎設計図書に疑義が生じたり、現場の納まり又は取合い等の関係で設計図書によることが困難又は不都合な場合が生じたときは、標仕記載の「疑義に対する協議等」による。  ◎工事現場に監督員は常駐できないので、疑問な点、その他打合せ決定を要する事項は、監督員の出向いた時、又はまちづくり課へ問い合わせ、工事に遺漏のないようにすること。  ◎品質管理は、適切な時期に品質計画に基づき、確認、試験又は検査を行うこと。結果が管理値を外れるなど疑義が生じた場合は、品質計画にしたがって適切な処理を施すこと。また、その原因を検討し、再発防止のための必要な処置をとること。  ◎施工にあたっては、設計図書に従って忠実に施工すること。不都合な工法等を発見した場合は、工事が進行済みであっても根本的な手直しを命ずるので、注意して施工すること。手直し工事は、受注者の責任において実施し、それに要する費用は受注者の負担とする。  ◎本工事の施工及び管理にあたり法規上必要となる有資格者については、工事着手前に資格者名簿及びその証明書類等を監督員に提出すること。  ◎設計図書（各施工計画書を含む）に定められた工程が完了した時、報告書を提出し、監督員の検査等を受け、承諾を受けて次の工程に進むこと。  ◎試験等によらなければ確認できない工事（製品）については、試験等計画書（施工計画書に記載）を提出し、監督員の承諾を受け試験を行い、その結果を報告し承認を得ること。  ◎排出ガス対策型建設機械 本工事に使用する土工機械は、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成3.10.8建設省経機発第249号最終改正平成14.4.1国総施第225号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械とする。ただし、排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、又はこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明により評価された排出ガス浄化装置を装着することで排出ガス対策型建設機械と同等とみなすが、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。なお、排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の全景及び型番等が分かる写真を監督員に提出するものとする。  ◎低騒音・低振動型建設機械 本工事で使用する建設機械は、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程（国土交通省告示平成13年4月9日改正）」に基づき指定された建設機械を使用するものとする。現場代理人は、施工現場において使用する建設機械の全景及び型番等、同規程に基づき指定された建設機械であることが分かる写真を監督員に提出するものとする。ただし、同規程に記載されていない機種、規格の建設機械により施工する場合はこの限りでない。なお、同規程に基づき指定された建設機械を現場に供給するのが著しく困難な場合は、監督員と協議する。ただし、騒音規制法、徳島県公害防止条例等の関係法令を遵守するものとする。  ◎特定自主検査 本工事で使用する建設機械（労働安全衛生法により特定自主検査が義務づけられている建設機械）は、1年以内毎に1回特定自主検査を実施済みの機械を使用し、その検査証明書（検査記録表）の写しを使用工種の施工計画書に添付し提出すること。  ◎不正軽油の使用禁止 受注者は、ディーゼルエンジン仕様の車両及び建設機械等を使用する場合は、地方税法（昭和25年法律第226号）に違反する軽油等を燃料として使用してはならない。 また、受注者は、県の徴税吏員が行う使用燃料の採取調査に協力しなければならない。  ◎工事現場には、工事看板を監督員の指示に従って見やすい場所に設けること。  ◎設計事務所による工事監理がある場合、受注者は、工事監理業務受注者が作成する設計変更箇所一覧表の内容について、監督員、工事監理業務受注者とともに定期的に確認すること。 また、工事しゅん工前には全ての設計変更箇所及び内容を監督員、工事監理業務受注者とともに、書面により確認すること。	19 工事検査及び技術検査	◎設計図書（各施工計画書を含む）に定められた工程が完了した時、報告書を提出し、監督員の承諾を受け試験を行い、その結果を報告し承認を得ること。  ◎試験等によらなければ、確認できない工事（製品）については、試験等計画書（施工計画書に記載）を提出し、監督員の承諾を受け試験を行い、その結果を報告し承認を得ること。  ◎鳴門市工事検査規定及び鳴門市工事検査基準に基づき検査を受けること。  ◎提出書類 ・竣工図（製本A2版1部、A3版1部、電子データ1部）は監督員が指示する場合に作成すること。  ・工事写真（写真帳2部、電子データ1部） ・使用材料一覧表（竣工図表紙裏面に貼付、電子データ2部） ・保全に関する資料 ・その他監督員が指示する図書（必要部数） ◎しゅん工図は関係図面（データ貸与）を修正して作成すること。 しゅん工図データは、関係図面（データ貸与）を修正して作成し、PDF形式、SFC形式及びオリジナル形式をCD-R等に保存する。  ◎工事写真は完成写真、着手前、資機材、施工状況の順に整理する。 完成写真については、工事目的物の状態が、資機材、施工状況等については、不可視部分の出来形が写真で真確に確認できること。  ◎工事写真の撮影は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領」によること。 <table><tr><th>区 分</th><th>サ イ ズ</th></tr><tr><td>着 手 前</td><td>カラー、手札版又はサービスサイズ</td></tr><tr><td>施 工 中</td><td>カラー、手札版又はサービスサイズ</td></tr><tr><td>完 成 写 真</td><td>カラー、手札版又はサービスサイズ</td></tr></table> ◎工事完成撮影は、別途指定がある場合を除き、専門家によらないものとする。  ◎既存埋設管等の状況について、現場と図面の相違が発覚した場合は竣工図に反映させること。  ◎本工事に伴う諸官公署への各種申請は、請負業者が行うものとし、費用（手数料含む）については、請負者の負担とする。  ◎受注者は、デジタル工事写真の小黑板情報電子化の実施を希望する場合は、監督員の承諾を得たうえで、デジタル工事写真の小黑板情報電子化対象工事（以下、「対象工事」という）とすることができる。	区 分	サ イ ズ	着 手 前	カラー、手札版又はサービスサイズ	施 工 中	カラー、手札版又はサービスサイズ	完 成 写 真	カラー、手札版又はサービスサイズ	20 完成図等	21 デジタル工事写真の小黑板情報電子化	22 火災保険等	◎火災保険 本工事の着手に際し、火災保険等（火災保険、建設工事保険その他の保険（これに準ずるものを含む。））を請負額に応じて付保する。（標準請負契約約款 第55条） (1) 対象物 工事目的物及び工事材料（支給材料を含む）について付保する。 (2) 付保除外工事 次に掲げる単独工事については、付保を除外できる。 ・杭及び基礎工事 ・コンクリート躯体工事 ・屋外付帯工事 ・その他実状を判断のうえ必要がないと認めた場合（外壁補修工事等） (3) 付保する時期及び金額 鉄筋コンクリート造の場合は躯体工事完了時に、木造及び鉄骨造の場合は基礎工事完了時に、請負金額相当額を付保する。また、模様替え工事等については、工事着手時に請負金額相当額を付保する。 (4) 保険終期 工事完成期日に14日を加えた期日とする。なお、工期延伸した場合には保険の期間も延長する。 (5) その他 ・付保する時期以降に出来高払を行う場合は、受注者は保険契約の証券の写しを出来高払の書類に添付する。 ・建設工事保険に付保した場合は、火災保険に付保したものとみなす。  ◎請負業者倍償責任保険に付保すること。
	区 分	サ イ ズ																
着 手 前	カラー、手札版又はサービスサイズ																	
施 工 中	カラー、手札版又はサービスサイズ																	
完 成 写 真	カラー、手札版又はサービスサイズ																	
13 材料・製品等																		

IZUMI SEKKEISHITU		工事名称	立 岩 区 画 排 水 機 場 改 良 関 連 工 事		図面名称	特 記 仕 様 書（2）	縮 尺	—	
		(株) 泉設計室			1級建築士登録 第237012号 管理建築士 泉 真治			特-02	
		〒772-0002 徳島県鳴門市撫養町斉田字浜端西6-1	TEL・FAX 088-685-9345		事務所登録番号 徳島県知事登録第51049号				

[illegible]

	IZUMI SEKKEISHITU	工事名称	立 岩 区 画 排 水 機 場 改 良 関 連 工 事	図面名称	特 記 仕 様 書 (3)	縮尺	—
		(株) 泉設計室		1級建築士登録 第237012号 管理建築士 泉 真治			特-03
		〒772-0002 徳島県鳴門市撫養町斉田字浜端西6-1		事務所登録番号 徳島県知事登録第51049号			
		TEL・FAX 088-685-9345					

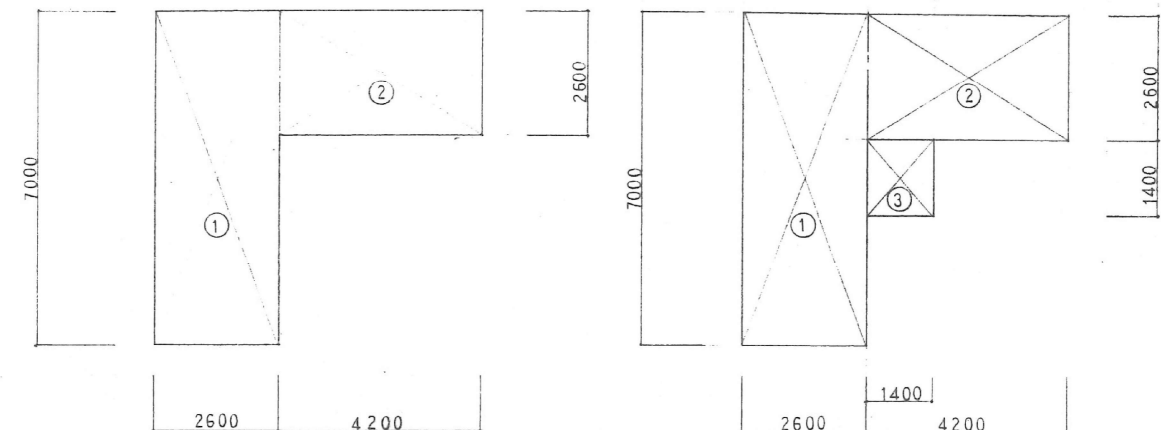


章		項 目		特 記 事 項		章		項 目		特 記 事 項																																			
	2.	アスベスト含有吹付け材の除去	◎工法 (1) アスベスト除去工法は、「建築物等の保全技術・技術審査証明事業」による保全審査証明取得工法又は（一財）日本建築センターによる審査証明取得工法とする。  ◎除去箇所一覧表 <table><tr><th>階数</th><th>室 名</th><th>箇所</th><th>建 材 種 別</th><th>面積</th><th>調査方法</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ◎作業場の隔離等 (1) 前室、洗浄室及び更衣室は（ 図示の位置に設ける ・ 仮設建築物を設ける ）。 (2) 除去が完了したときは、アスベスト等に関する知識を有する者等が除去を完了したことを確認し、監督員に報告すること。  ◎施工記録等 (1) 施工記録報告書及び特定粉じん排出等作業完了報告書を作成し、監督員に提出すること。 (2) 施工記録報告書のうち作業者の作業記録は40年間保存すること。 (3) 作業計画による作業の記録は、3年間保存すること。  ◎除去箇所一覧表 <table><tr><th>階数</th><th>室 名</th><th>箇所</th><th>建 材 種 別</th><th>面積</th><th>調査方法</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ◎作業場の隔離等 (1) 前室、洗浄室及び更衣室は（ 図示の位置に設ける ・ 仮設建築物を設ける ）。 (2) 除去が完了したときは、アスベスト等に関する知識を有する者等が除去を完了したことを確認し、監督員に報告すること。  ◎施工記録等 (1) 施工記録報告書及び特定粉じん排出等作業完了報告書を作成し、監督員に提出すること。 (2) 施工記録報告書のうち作業者の作業記録は40年間保存すること。 (3) 作業計画による作業の記録は、3年間保存すること。	階数	室 名	箇所	建 材 種 別	面積	調査方法													階数	室 名	箇所	建 材 種 別	面積	調査方法																		
	階数	室 名	箇所	建 材 種 別	面積	調査方法																																							
階数	室 名	箇所	建 材 種 別	面積	調査方法																																								
3.	アスベスト含有保温材等の除去	◎養生等 (1) 建築物外周部で除去作業を行う場合の仮囲いの仕様は以下による。 外部足場（ 種類： ， 仕様 枚布、D= cm、シート種類： ） 仮囲い高さ：H= m (2) 建築物内部で除去作業を行う場合は、建具等を全て閉じた状態で行う。閉じることの出来ない開口部の養生方法及び解体用仮設の仕様は下記による。 内部足場（ 種類： ， 仕様 枚布、D= cm ） 養生種別（ ）  ◎工法 (1) 除去は、アスベストを含まない内装材及び外部建具の撤去にさがけて行うこと。 (2) 除去は、破壊又は破断を伴わない方法で行うものとし、原形のまま、「手ばらし」とする。 建築物外部の成形板を除去する場合も同様とする。 なお、やむを得ず切断、破砕等をしなければならない場合は、監督員と協議のうえ、常時湿潤化した状態で作業を行う。 ただし、アスベストを含有するけい酸カルシウム板第一種は、養生シート等で作業場所の隔離（負圧不要）を行う。 建物から取り外した廃材を湿潤化のうえ、原形のまま保管・運搬できるよう十分な大きさのフレキシブルコンテナバッグや車両を用意すること。  ◎除去箇所一覧表 <table><tr><th>階数</th><th>室 名</th><th>箇所</th><th>建 材 種 別</th><th>面積</th><th>調査方法</th></tr><tr><td>1</td><td>便所</td><td></td><td>ケイカル板（天井材）</td><td>29.2m<sup>2</sup></td><td>みなし</td></tr><tr><td>1</td><td>便所</td><td></td><td>テラゾータイル（トイレブース）</td><td>6.7m<sup>2</sup></td><td>みなし</td></tr><tr><td>1</td><td>屋根</td><td></td><td>シングル葺（屋根材）</td><td>21.5m<sup>2</sup></td><td>みなし</td></tr><tr><td>1</td><td>屋根</td><td></td><td>アスファルトルーフィング（屋根材）</td><td>21.5m<sup>2</sup></td><td>みなし</td></tr><tr><td>1</td><td>屋根</td><td></td><td>屋上シート防水</td><td>21.7m<sup>2</sup></td><td>みなし</td></tr></table> ◎除去が完了したときは、アスベスト等に関する知識を有する者等が除去を完了したことを確認し、監督員に報告すること。  ◎施工記録等 (1) 施工記録報告書を及び特定粉じん排出等作業完了報告書作成し、監督員に提出すること。 (2) 作業計画による作業の記録は、3年間保存すること。	階数	室 名	箇所	建 材 種 別	面積	調査方法	1	便所		ケイカル板（天井材）	29.2m <sup>2</sup>	みなし	1	便所		テラゾータイル（トイレブース）	6.7m <sup>2</sup>	みなし	1	屋根		シングル葺（屋根材）	21.5m <sup>2</sup>	みなし	1	屋根		アスファルトルーフィング（屋根材）	21.5m <sup>2</sup>	みなし	1	屋根		屋上シート防水	21.7m <sup>2</sup>	みなし							
階数	室 名	箇所	建 材 種 別	面積	調査方法																																								
1	便所		ケイカル板（天井材）	29.2m <sup>2</sup>	みなし																																								
1	便所		テラゾータイル（トイレブース）	6.7m <sup>2</sup>	みなし																																								
1	屋根		シングル葺（屋根材）	21.5m <sup>2</sup>	みなし																																								
1	屋根		アスファルトルーフィング（屋根材）	21.5m <sup>2</sup>	みなし																																								
1	屋根		屋上シート防水	21.7m <sup>2</sup>	みなし																																								
④	アスベスト含有成形板の除去	◎養生等 (1) 建築物外周部で除去作業を行う場合の仮囲いの仕様は以下による。 外部足場（ 種類： ， 仕様 枚布、D= cm、シート種類： ） 仮囲い高さ：H= m (2) 建築物内部で除去作業を行う場合は、建具等を全て閉じた状態で行う。閉じることの出来ない開口部の養生方法及び解体用仮設の仕様は下記による。 内部足場（ 種類： ， 仕様 枚布、D= cm ） 養生種別（ ）  ◎工法 (1) 除去は、アスベストを含まない内装材及び外部建具の撤去にさがけて行うこと。 (2) 除去は、破壊又は破断を伴わない方法で行うものとし、原形のまま、「手ばらし」とする。 建築物外部の成形板を除去する場合も同様とする。 なお、やむを得ず切断、破砕等をしなければならない場合は、監督員と協議のうえ、常時湿潤化した状態で作業を行う。 ただし、アスベストを含有するけい酸カルシウム板第一種は、養生シート等で作業場所の隔離（負圧不要）を行う。 建物から取り外した廃材を湿潤化のうえ、原形のまま保管・運搬できるよう十分な大きさのフレキシブルコンテナバッグや車両を用意すること。  ◎除去箇所一覧表 <table><tr><th>階数</th><th>室 名</th><th>箇所</th><th>建 材 種 別</th><th>面積</th><th>調査方法</th></tr><tr><td>1</td><td>便所</td><td></td><td>ケイカル板（天井材）</td><td>29.2m<sup>2</sup></td><td>みなし</td></tr><tr><td>1</td><td>便所</td><td></td><td>テラゾータイル（トイレブース）</td><td>6.7m<sup>2</sup></td><td>みなし</td></tr><tr><td>1</td><td>屋根</td><td></td><td>シングル葺（屋根材）</td><td>21.5m<sup>2</sup></td><td>みなし</td></tr><tr><td>1</td><td>屋根</td><td></td><td>アスファルトルーフィング（屋根材）</td><td>21.5m<sup>2</sup></td><td>みなし</td></tr><tr><td>1</td><td>屋根</td><td></td><td>屋上シート防水</td><td>21.7m<sup>2</sup></td><td>みなし</td></tr></table> ◎除去が完了したときは、アスベスト等に関する知識を有する者等が除去を完了したことを確認し、監督員に報告すること。  ◎施工記録等 (1) 施工記録報告書を及び特定粉じん排出等作業完了報告書作成し、監督員に提出すること。 (2) 作業計画による作業の記録は、3年間保存すること。	階数	室 名	箇所	建 材 種 別	面積	調査方法	1	便所		ケイカル板（天井材）	29.2m <sup>2</sup>	みなし	1	便所		テラゾータイル（トイレブース）	6.7m <sup>2</sup>	みなし	1	屋根		シングル葺（屋根材）	21.5m <sup>2</sup>	みなし	1	屋根		アスファルトルーフィング（屋根材）	21.5m <sup>2</sup>	みなし	1	屋根		屋上シート防水	21.7m <sup>2</sup>	みなし							
階数	室 名	箇所	建 材 種 別	面積	調査方法																																								
1	便所		ケイカル板（天井材）	29.2m <sup>2</sup>	みなし																																								
1	便所		テラゾータイル（トイレブース）	6.7m <sup>2</sup>	みなし																																								
1	屋根		シングル葺（屋根材）	21.5m <sup>2</sup>	みなし																																								
1	屋根		アスファルトルーフィング（屋根材）	21.5m <sup>2</sup>	みなし																																								
1	屋根		屋上シート防水	21.7m <sup>2</sup>	みなし																																								
⑤	アスベスト含有仕上塗材の除去	◎工法 「建築物の改修・解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿繊維飛散防止処理技術指針」による。  ◎除去箇所一覧表 <table><tr><th>階数</th><th>室 名</th><th>箇所</th><th>建 材 種 別</th><th>面積</th><th>調査方法</th></tr><tr><td>階数</td><td>内・外壁</td><td></td><td>下地調整材</td><td>191m<sup>2</sup></td><td>分析</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ◎電気グラインダー等の電動工具を使用して除去を行う場合は、湿潤化に加えて隔離養生（負圧不要）の措置を行う。  ◎除去したアスベスト含有仕上塗材の廃棄物は、耐水性のプラスチック袋等により二重でこん包すること。  ◎除去が完了したときは、アスベスト等に関する知識を有する者等が除去を完了したことを確認し、監督員に報告すること。  ◎施工記録等 (1) 施工記録報告書及び特定粉じん排出等作業完了報告書を作成し、監督員に提出すること。 (2) 施工記録報告書のうち作業者の作業記録は40年間保存すること。 (3) 作業計画による作業の記録は、3年間保存すること。	階数	室 名	箇所	建 材 種 別	面積	調査方法	階数	内・外壁		下地調整材	191m <sup>2</sup>	分析																															
階数	室 名	箇所	建 材 種 別	面積	調査方法																																								
階数	内・外壁		下地調整材	191m <sup>2</sup>	分析																																								

	IZUMI SEKKEISHITU		工事名称	立 岩 区 画 排 水 機 場 改 良 関 連 工 事		図面名称	特 記 仕 様 書（4）		縮尺	—
			(株) 泉設計室 〒772-0002 徳島県鳴門市撫養町斉田字浜端西6-1			1級建築士登録 第237012号 管理建築士 泉 真治 事務所登録番号 徳島県知事登録第51049号			特-04	

構	造	概	要
構 造	鉄 筋 コンクリート 造	壁 構 造	
基 礎	鉄 筋 コンクリート 造		
屋 根	木 造 小 屋 組 構 造		

外 部 仕 上 表				
屋 根	勾配屋根	ジンワイル葺 (不燃)	アラサ	床 100角 腐蝕タイル 覆板貼 下地モルタル (IMAX ケチワ70P 同等品)
	(下地 アスファルトトル・フィング 22kg + コンパネ 120)			
	陸屋根	シート 防水 1.5mm <sup>2</sup> (シルバー・コート仕上)	ル・フトレイン	鋼板製 コーナートレイン 75 <sup>※</sup> 用
	(下地 コンクリート盛コテ)			
			断 樋	エスロン テバントップ 6V150 同等品 自在トレイン
外 壁	コンクリート打放シ の上 吹付タイル			
	一部 コンクリート打放シ (化粧目地)		タテ 樋	VP 75 <sup>※</sup> VP 271
スロープ	床	モルタル 盛コテ		

[illegible]

床面積 求積図  $S = 1 : 150$

建築面積 求積図  $S = 1 : 150$

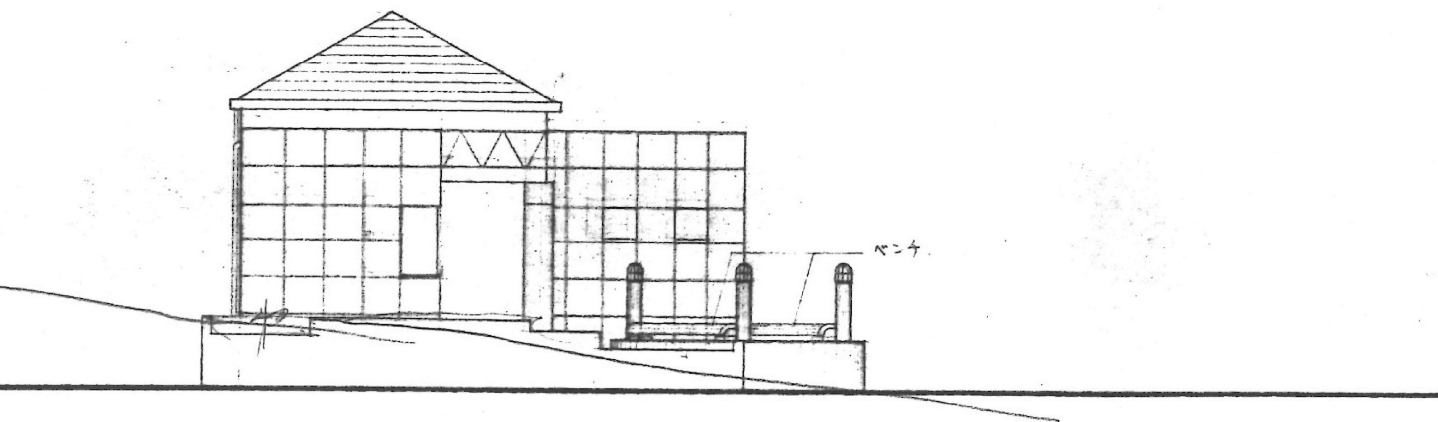
床 函 積

建築面積

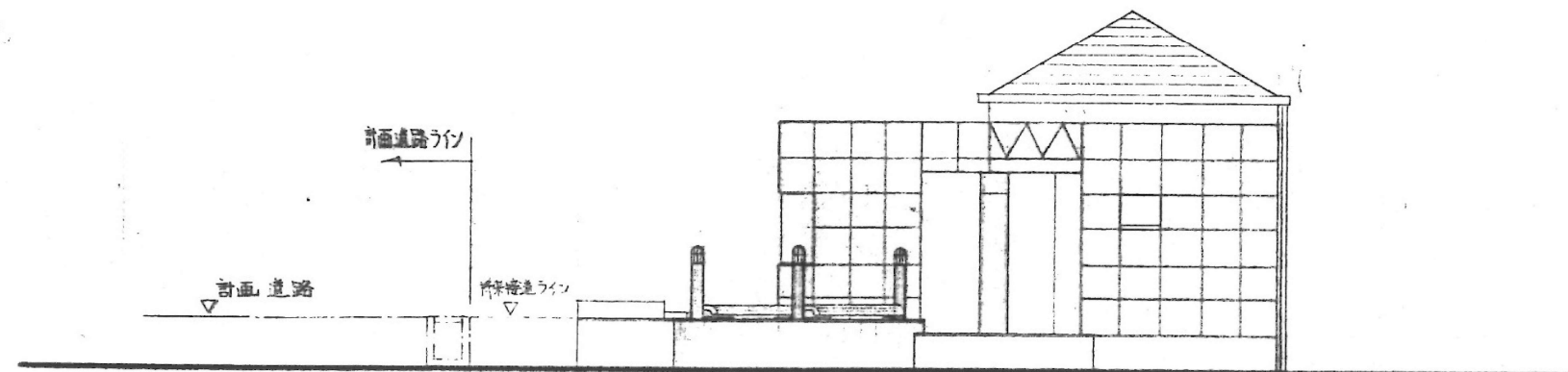
記号	計 算 式	小 計	記号	計 算 式	小 計
①	$2.6 \times 7.0$	18.2	①	$2.6 \times 7.0$	18.2
②	$4.2 \times 2.6$	10.92	②	$4.2 \times 2.6$	10.92
			③	$1.4 \times 1.4$	1.96
TOTAL		29.12 M <sup>2</sup>	TOTAL		31.08 M <sup>2</sup>

	IZUMI SEKKEISHITU	工事名称	立 岩 区 画 排 水 機 場 改 良 関 連 工 事	図面名称	仕 上 表 、 面 積 表	縮尺	1/150
		(株)泉設計室 〒772-0002 徳島県鳴門市撫養町斉田字浜端西6-1 TEL・FAX 088-685-9345		1級建築士登録 第237012号 管理建築士 泉 真治 事務所登録番号 徳島県知事登録第51049号			A-01

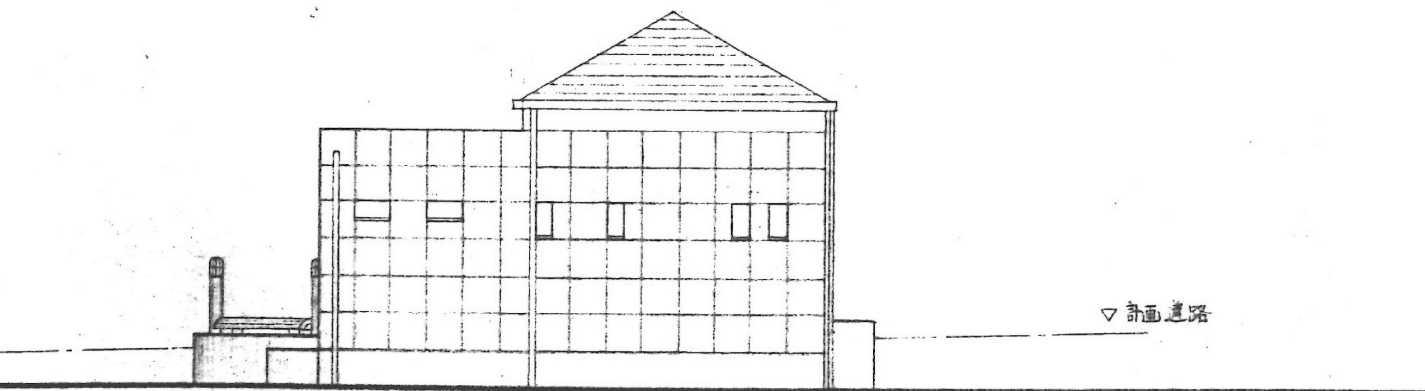




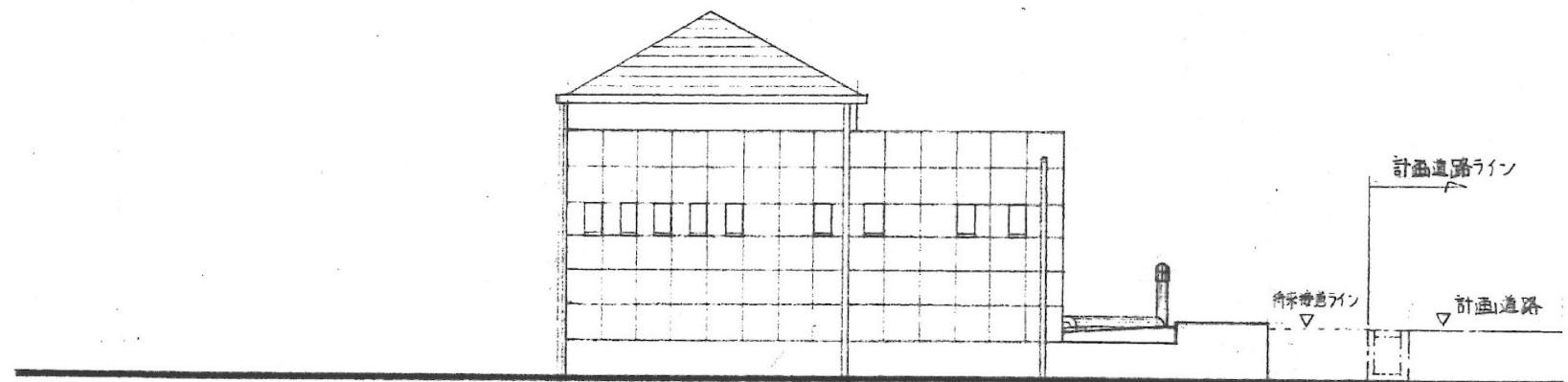
南 立 面 図 S=1:100



東 立 面 図 S=1:100



北 立 面 図 S=1:100

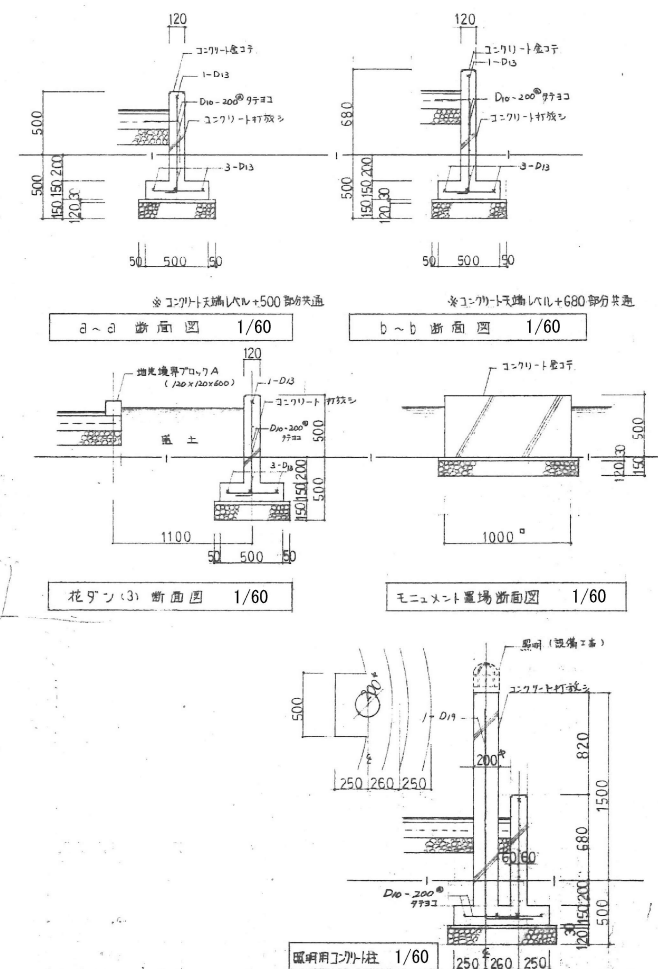


西 立 面 図 S=1:100

	IZUMI SEKKEISHITU	工事名称	立岩区画排水機場改良関連工事	図面名称	立面図	縮尺	1/100
		(株)泉設計室		1級建築士登録 第237012号 管理建築士 泉 真治			A-03
		〒772-0002 徳島県鳴門市撫養町斉田字浜端西6-1	TEL・FAX 088-685-9345	事務所登録番号 徳島県知事登録第51049号			

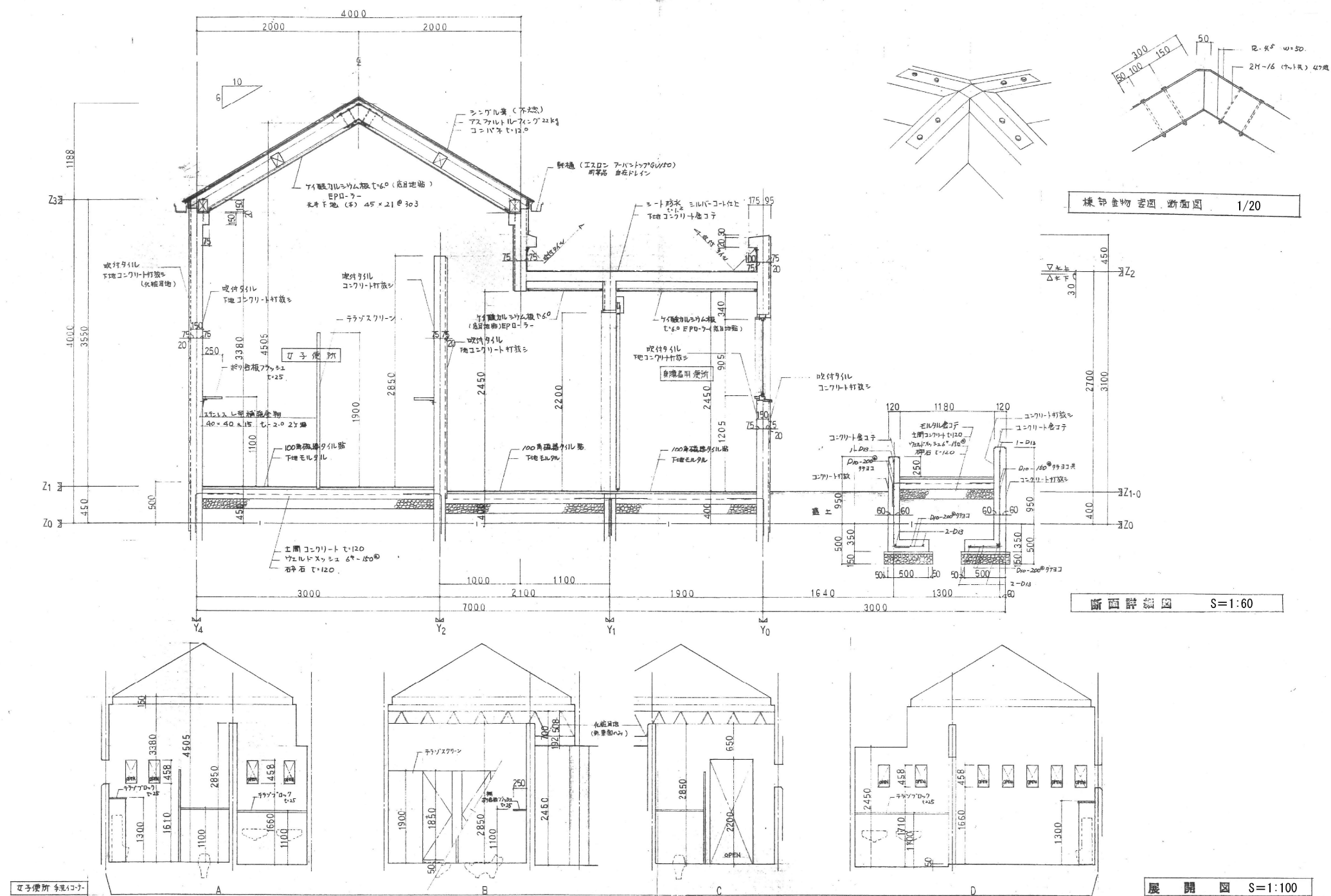


桁号	外構仕上
①	100角鉄筋コンクリート柱 (500x500) 印部 100角鉄筋コンクリート柱
②	モルタル金コナ
ベンチ	W=1600 鉄コナ EX-13171 同等品
花ダンリ	ビードワッパ 9号 H=3.5 鉄コナ W=1.2
ハ (12)	ハヤキ H=3.5 鉄コナ W=1.2
ハ (13)	ハヤキ H=3.5 鉄コナ W=1.2
グレンダウ	W=200 鉄コナ 550 鉄コナ 550 鉄コナ 550

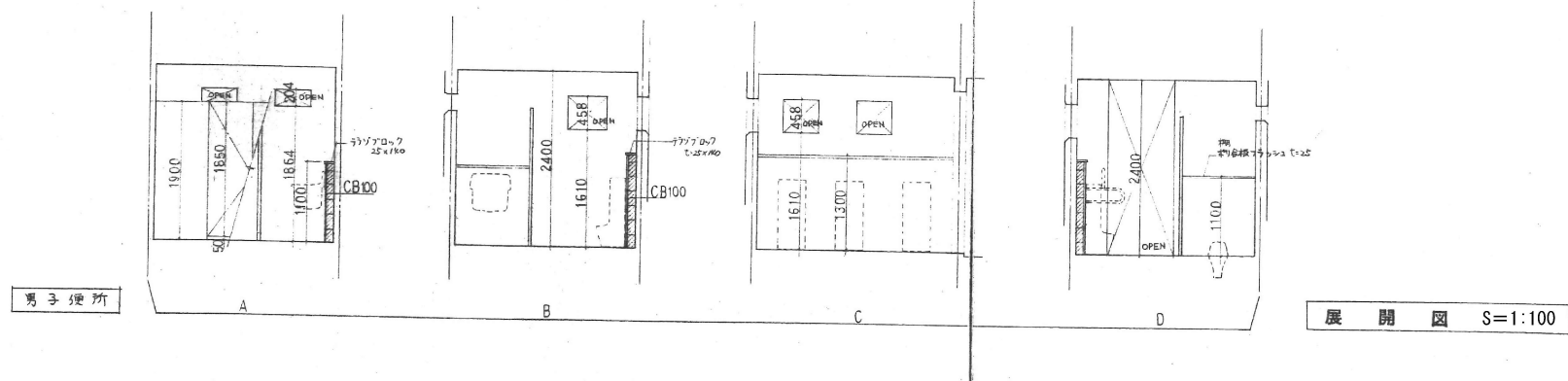
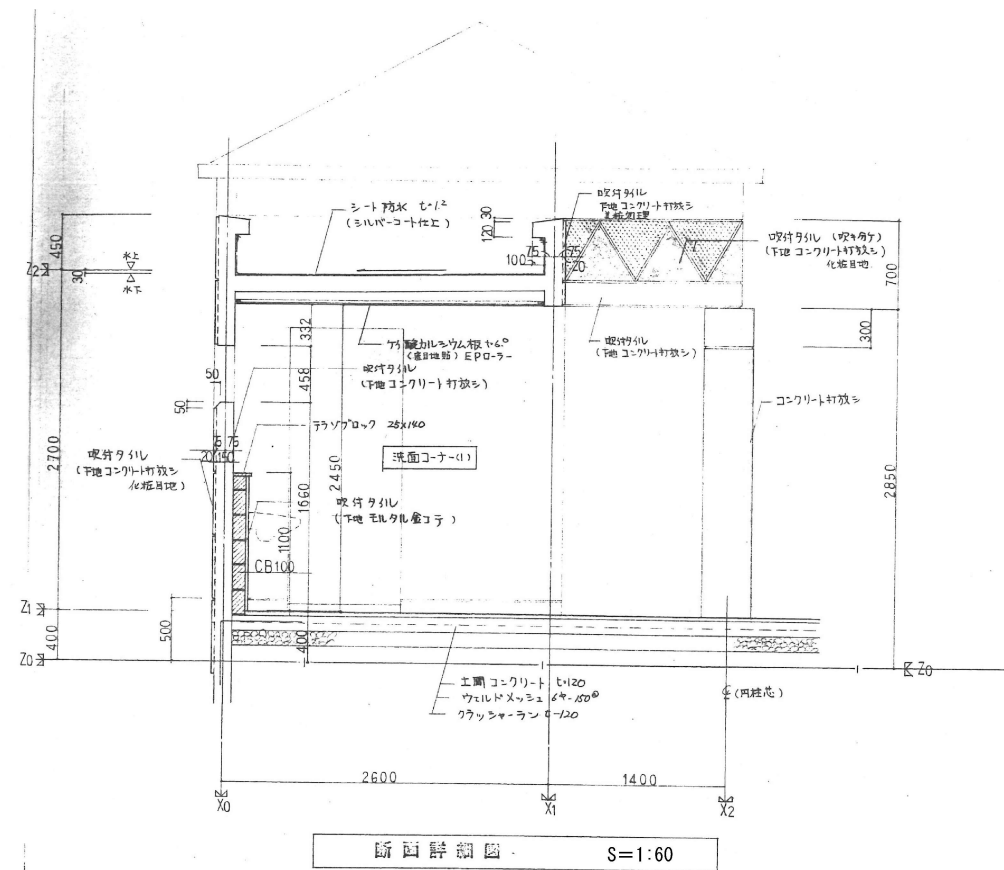
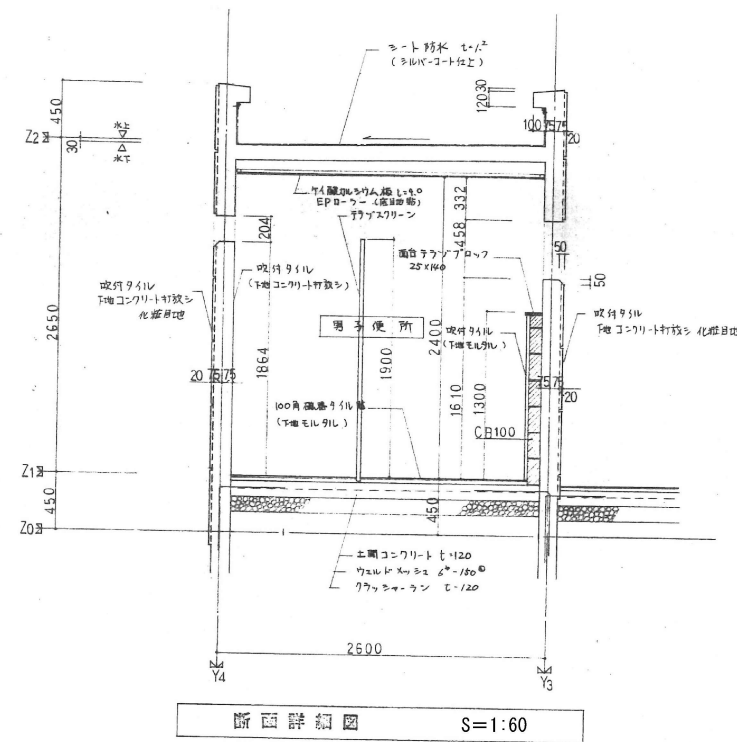


IZUMI SEKKEISHITU	工事名称	立岩区画排水機場改良関連工事	図面名称	平面詳細図、断面図	縮尺	1/40、1/60、1/100
	(株) 泉設計室		1級建築士登録 第237012号 管理建築士 泉 真治			
	〒772-0002 徳島県鳴門市撫養町青田字浜端西6-1	TEL・FAX 088-685-9345	事務所登録番号 徳島県知事登録第51049号			
						A-04

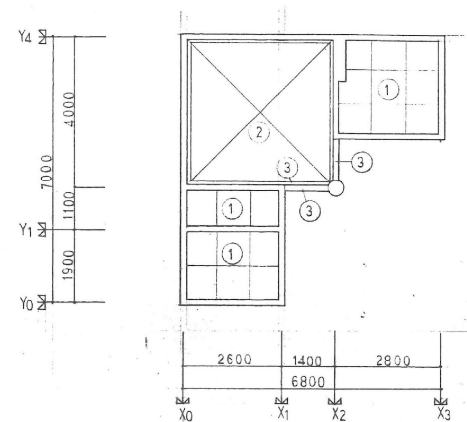




IZUMI SEKKEISHITU	工事名称 立岩区画排水機場改良関連工事	図面名称 断面詳細図(1)、展開図(1)	縮尺	1/20、1/60、1/100
	(株)泉設計室 〒772-0002 徳島県鳴門市撫養町斉田字浜端西6-1 TEL・FAX 088-685-9345	1級建築士登録 第237012号 管理建築士 泉 真治 事務所登録番号 徳島県知事登録第51049号		A-05

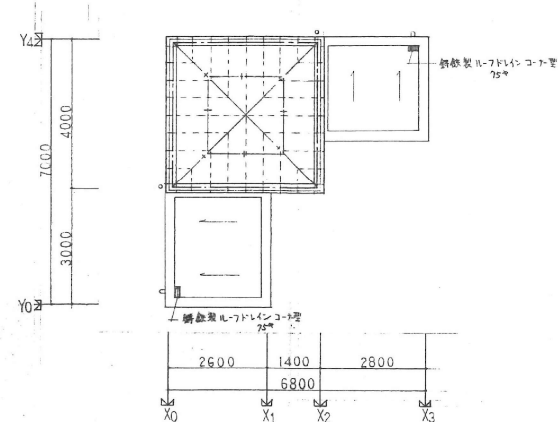


	IZUMI SEKKEISHITU	工事名称	立岩区画排水機場改良関連工事	図面名称	断面詳細図(2)、展開図(2)	縮尺	1/60、1/100
		(株) 泉設計室	〒772-0002 徳島県鳴門市撫養町斉田字浜端西6-1	1級建築士登録 第237012号 管理建築士 泉 真治	事務所登録番号 徳島県知事登録第51049号		A-06



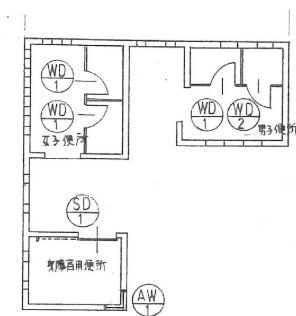
天井伏図 S=1:200

符号	天井仕上
①	ケイ酸カルシウム板 底目地貼 EPローラー (原形仕様)
②	ケイ酸カルシウム板 EPローラー (市下地)
③	吹付アール T型コンクリート打設



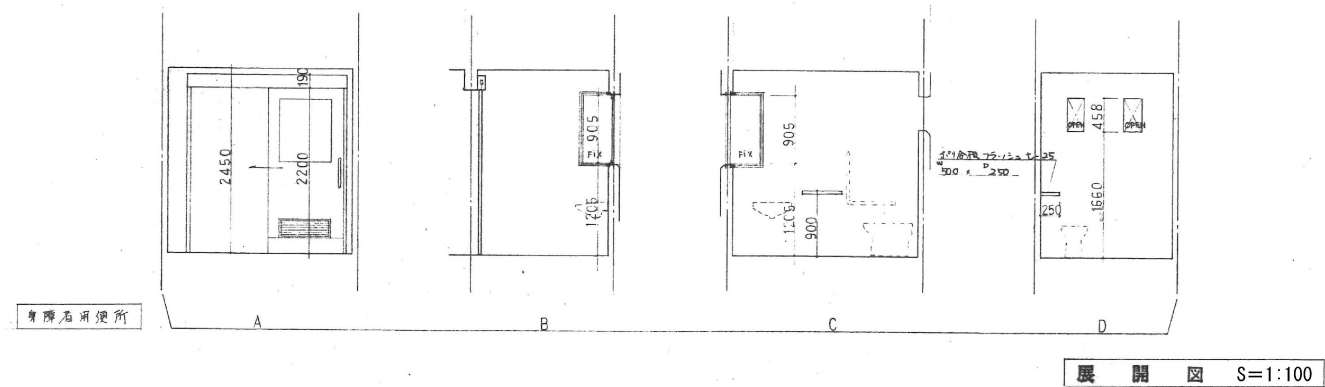
小屋伏図 S=1:200

凡例	部材	小屋組合せ
——	桁梁	120 x 150
—+—	登梁	120 x 150
----	垂木	45 x 60 間450



建具配置図 S=1:200

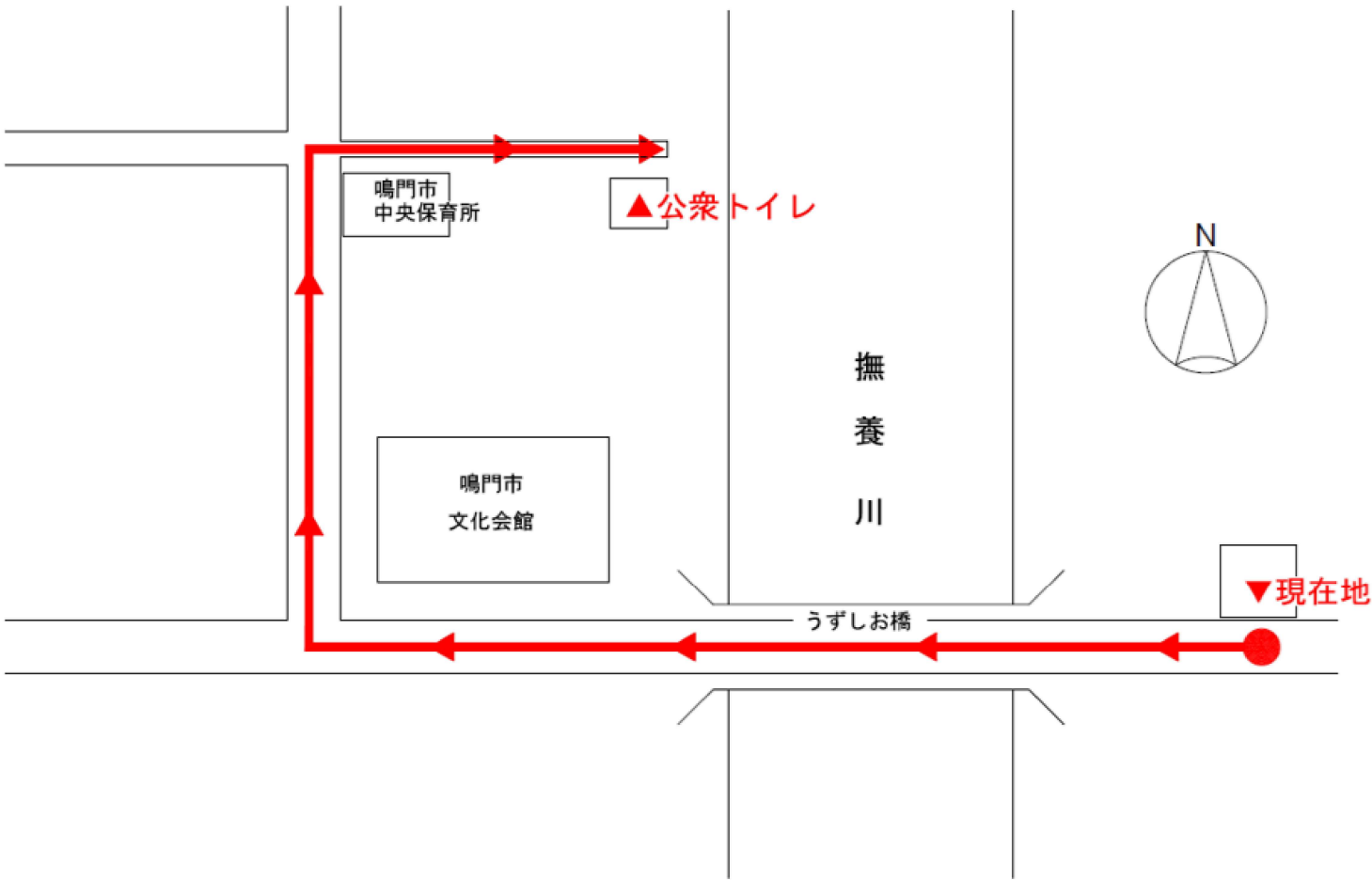
符号数量	WD 1 男子用便所 3 間	WD 2 男子用便所 1 間
型式	WD 1 片開キ戸	WD 2 片開キ戸
形状		
材質	ホリ戸板 フラッシュ	同 左
仕上	単 SOP 塗	同 左
開子	ラバドリーベンシ	ラバドリーベンシ
金物	ラッチ 開子掛付戸用	ラバドリーベンシ 取手 開閉錠
符号数量	AW 1 身障者用便所 1 間	SD 1 身障者用便所 1 間
型式	AW 1 Fix 窓	SD 1 片引キ戸
形状		
材質	アルミ	スレート (エポキシ樹脂塗装)
仕上	電着着色紅土	(コクリート) 電着着色 (赤) 珪藻土
開子	網入 型ガラス 1200 x 1650	網入 型ガラス 1200 x 1650
金物	網入窓物一式	網入窓物一式



展開図 S=1:100

「さわやかトイレスダチくん」 廃止のお知らせ

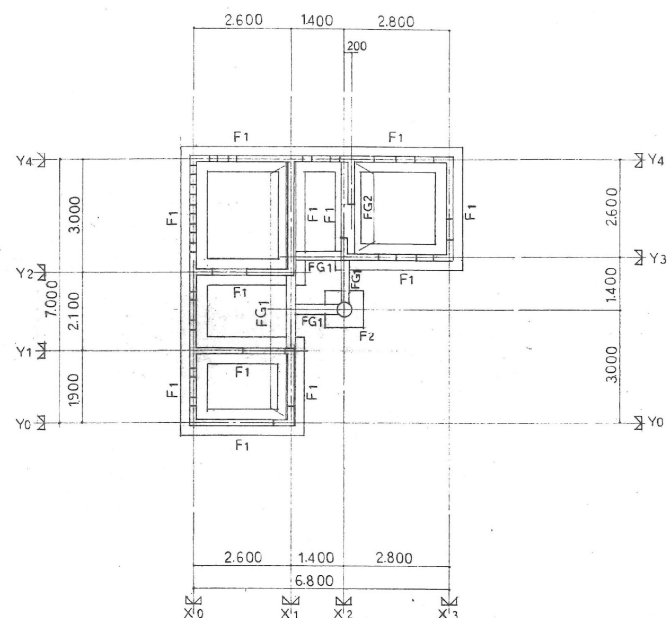
立岩区画排水機場改良事業に伴い、令和8年3月31日をもって「さわやかトイレスダチくん」は廃止となります。  
長い間ご利用いただき、ありがとうございました。  
今後、トイレをご利用の際は、下記の公衆トイレをご利用ください。  
ご利用の皆様にはご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力の程、よろしくお願い致します。



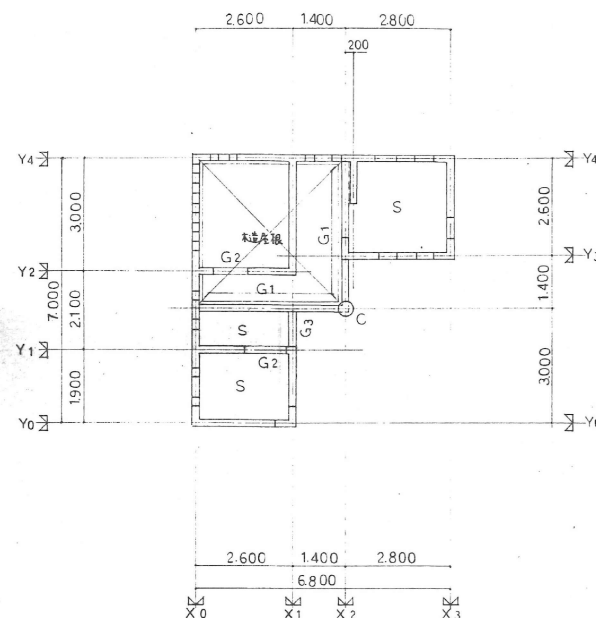
鳴門市 環境共生部 環境政策課  
088-684-0784

材質：アクリル板 (ア) 2mm 白  
案内板サイズ：900×600程度  
※案内板の記載内容、日付等については要協議

IZUMI SEKKEISHITU		工事名称	立岩区画排水機場改良関連工事	図面名称	看板案内図 (案)	縮尺	1/3
		(株) 泉設計室		1級建築士登録 第237012号 管理建築士 泉 真治			A-08
		〒772-0002 徳島県鳴門市撫養町斉田字浜端西6-1	TEL・FAX 088-685-9345	事務所登録番号 徳島県知事登録第51049号			

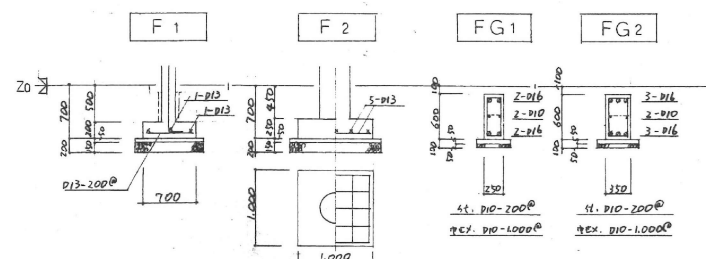


基礎伏図 1:200



伏図 1:200

注) 壁は全て t=150 とす



壁リスト 1:60

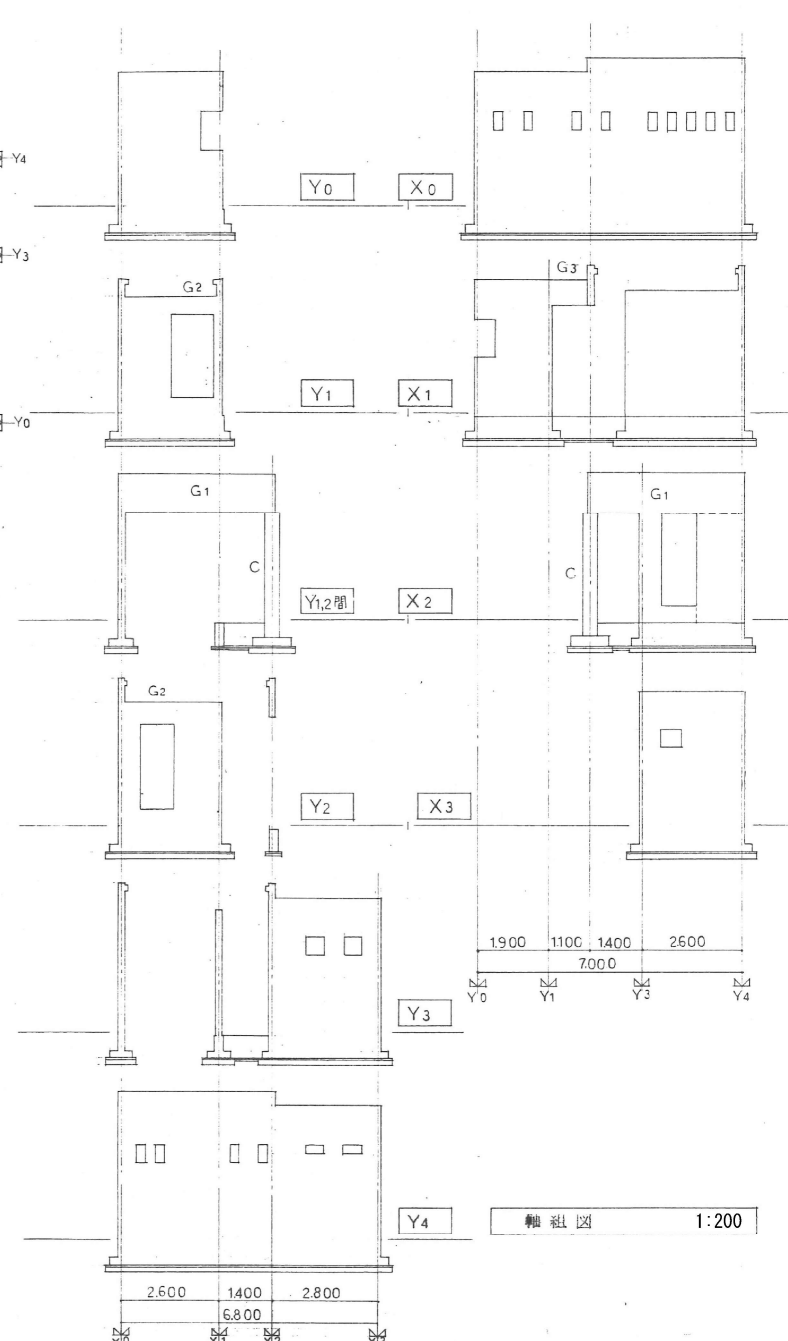
壁厚	t=150
断面	
縦筋	D10-150 <sup>②</sup> S
横筋	D10-150 <sup>②</sup> S
隅口	Z-D13 (H171000) 1-D13 (H151000)
伸張筋	Z-D13
斜材	1-D13
端部補強	99-33 Z-D13

柱リスト 1:100

記号	C
φ	400 φ
断面	
主筋	6-D16
HOOP	○-D10-100 <sup>②</sup> (巻掛)

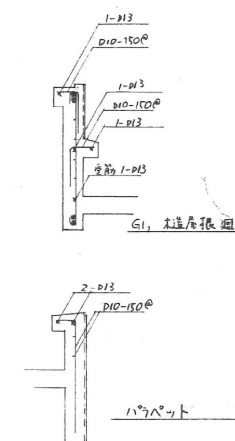
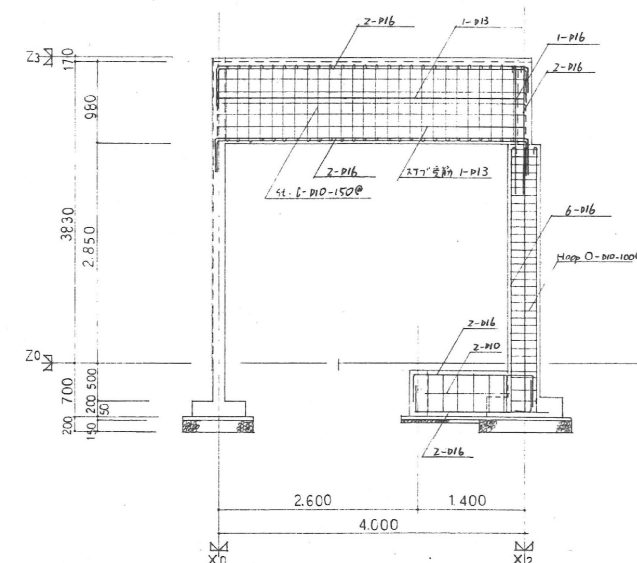
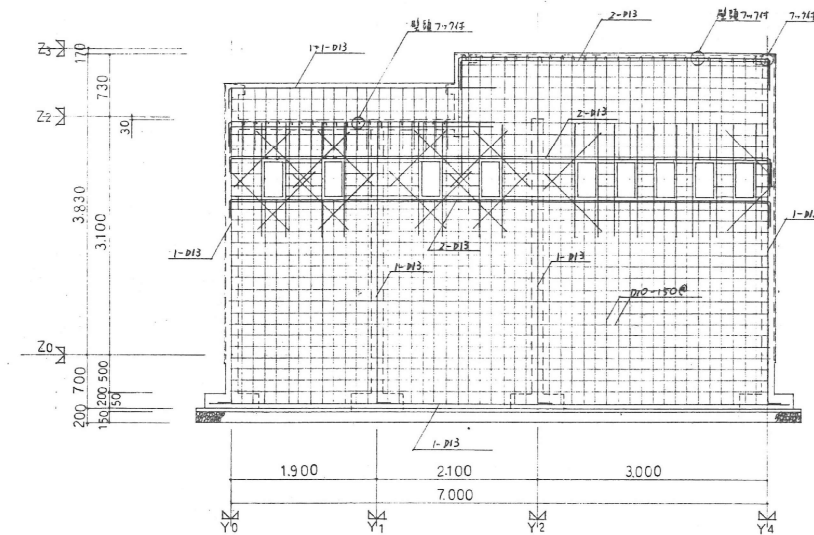
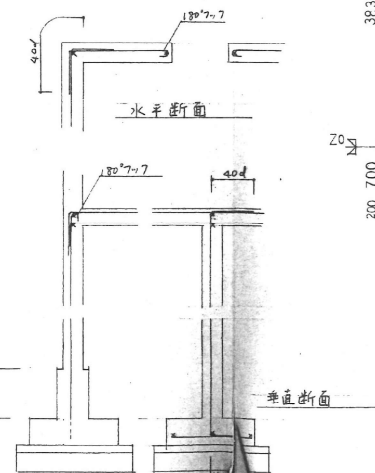
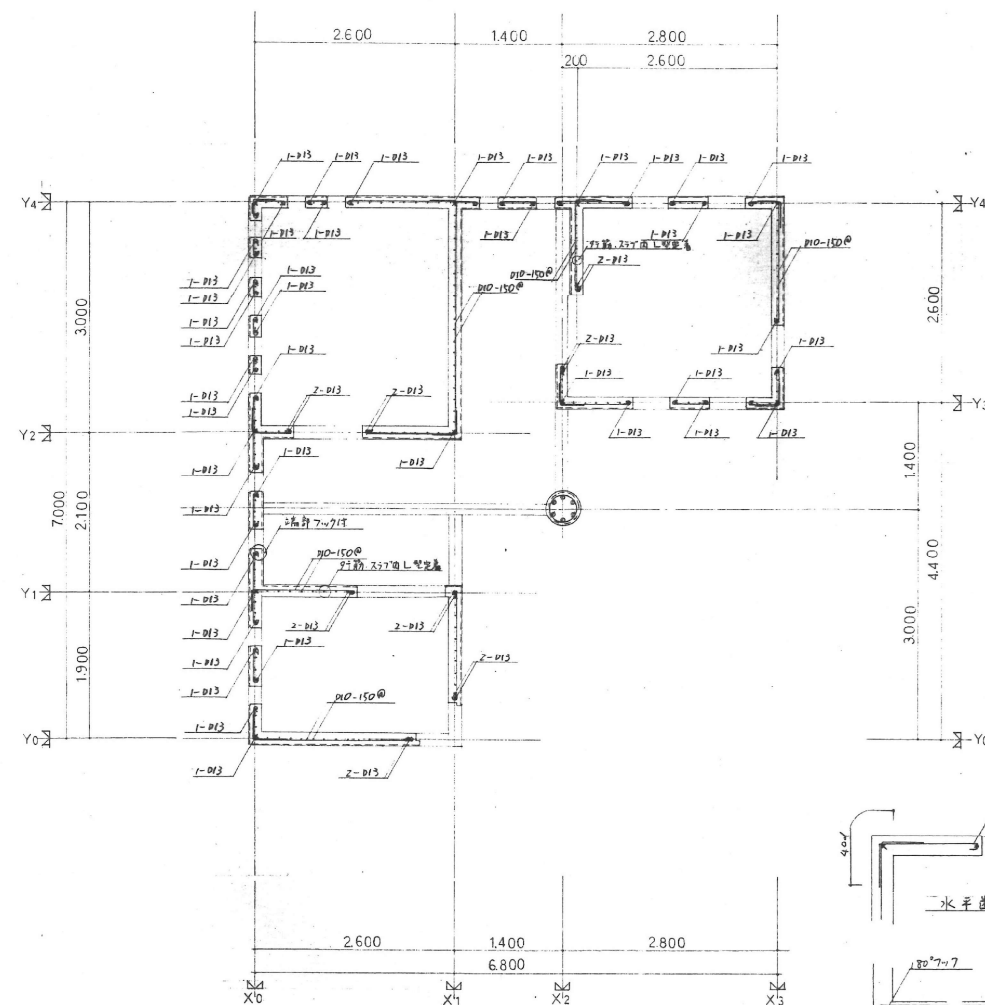
記号	厚さ	位置	短辺	長辺
S	t=130	上端筋	D10 + D13-200 <sup>②</sup>	D10-250 <sup>②</sup>
		下端筋	D10-200 <sup>②</sup>	D10-250 <sup>②</sup>

記号	G1	G2	G3
B x D	150 x 980	150 x D	150 x 700
断面			
上端筋	Z-D16	Z-D13	Z-D13
下端筋	Z-D16	Z-D13	Z-D13
スタラップ	⌋-D10-150 <sup>②</sup>	⌋-D10-150 <sup>②</sup>	⌋-D10-150 <sup>②</sup>

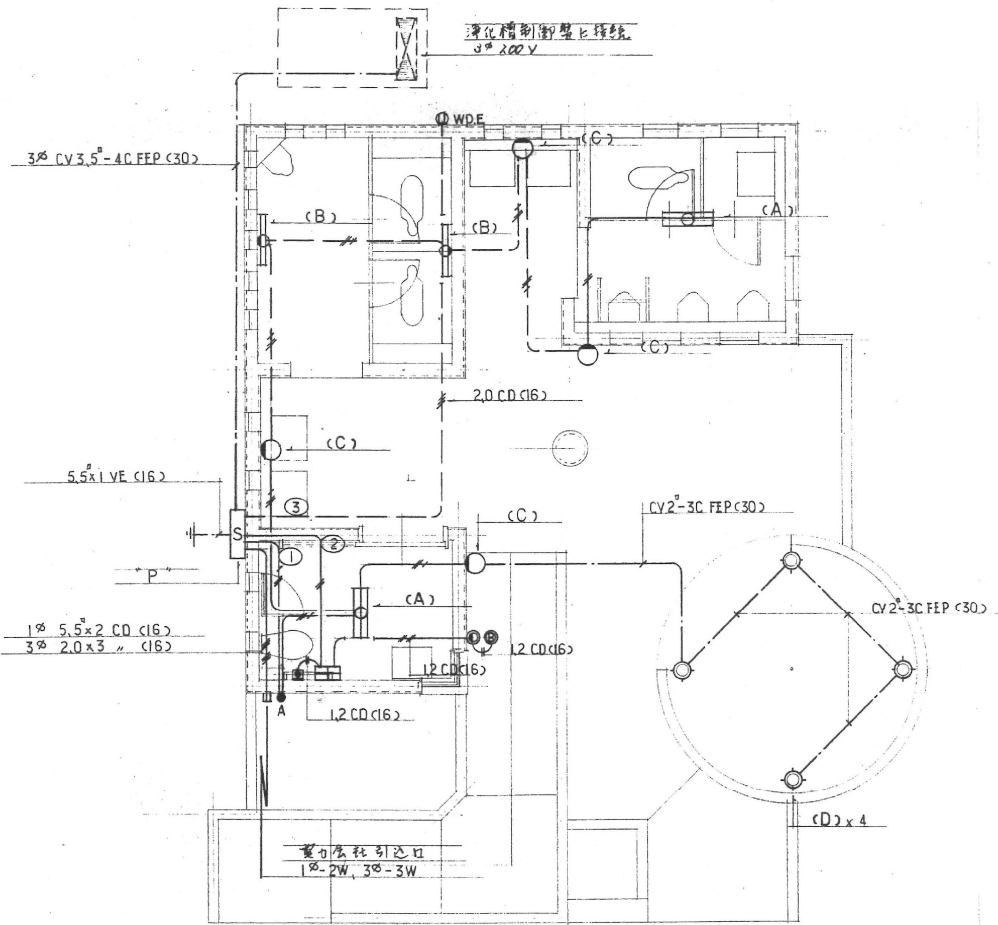


軸組図 1:200




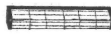




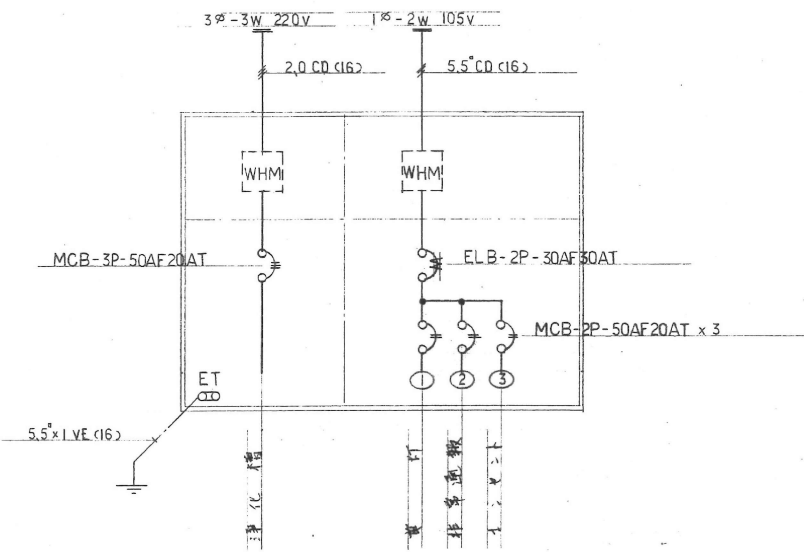
	IZUMI SEKKEISHITU	工事名称	立 岩 区 画 排 水 機 場 改 良 関 連 工 事	図面名称	壁 配 筋 図 、 雑 配 筋 図	縮尺	1/60、1/100
		(株)泉設計室 〒772-0002 徳島県鳴門市撫養町斉田字浜端西6-1 TEL・FAX 088-685-9345		1級建築士登録 第237012号 管理建築士 泉 真治 事務所登録番号 徳島県知事登録第51049号			S-02



※ 図中特記なし 管内配管配線は 1φ 1.6×2×2.3 CD (16) とする

平面図 1:100


















照明器具表			
A	B	C	D
FL 20W × 2 (ステンレス製) FA 220V 6 GH (ガード付)	FL 20W × 1 (ステンレス製) NW 220V 8 GH	FL 18W × 1 A-201 (マダマ7)	FL 60W × 1 A-806 (マダマ7)
			
ガード(ステンレス製) 共 NM 02256 ~ 42F			ボール (遮光器付)

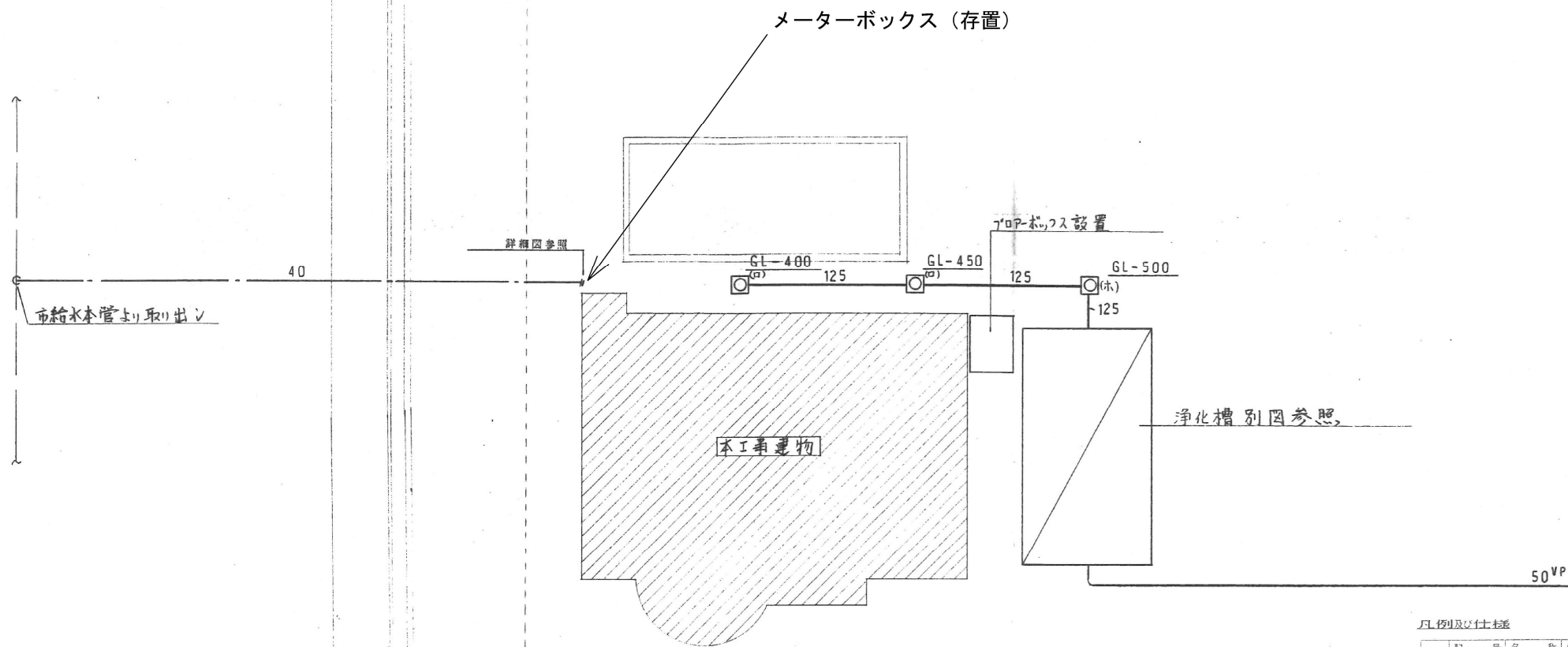


※ 壁内、屋外防水型、指定色  
と記す

引込開閉器盤 "P" 結線図

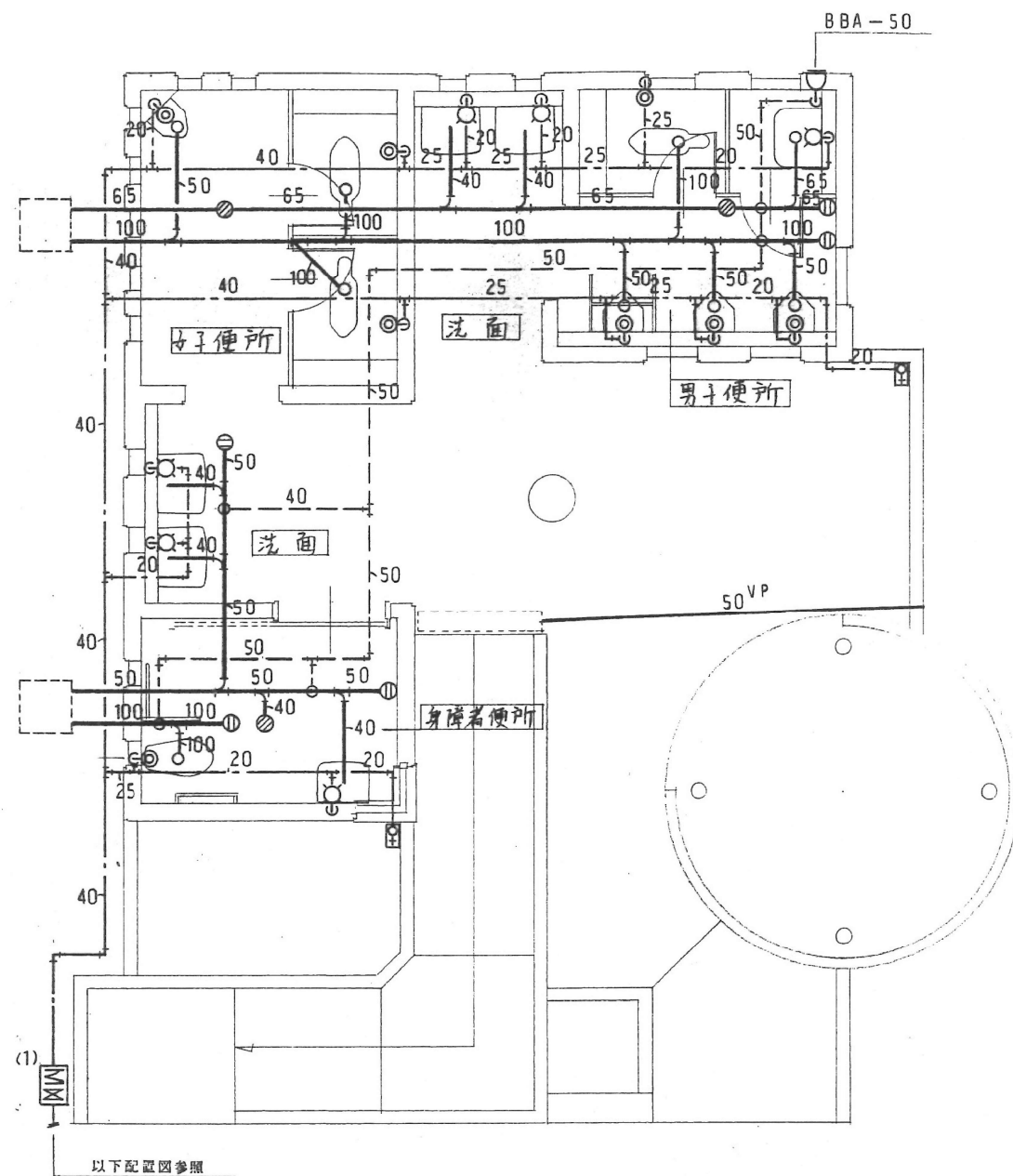
凡例

記号	名称	適用	備考
	引込開閉器盤		
	同上電灯回路番号		
	ジョイントボックス	カバープレート共	
	自動点滅器 (ヒヒスイッチ)	100V 10A	
	防水コンセント	2P15A × 2 7-ス付	
	非常通報装置		EK 963 (松下参照)
	同上警報ベル		EA 9061 "
	同上表示灯		ED 4500 "
	同上押し紐		EK 51 "
	照明器具	直付灯 (ガード付)	
	"	壁付灯 (ガード付)	
	"	壁付灯	
	"	ボール灯	
	接地工事		
	地中埋設配管配線		
	床 隠ぺい配管配線		
	天井隠ぺい配管配線		



配置図 S=1:150

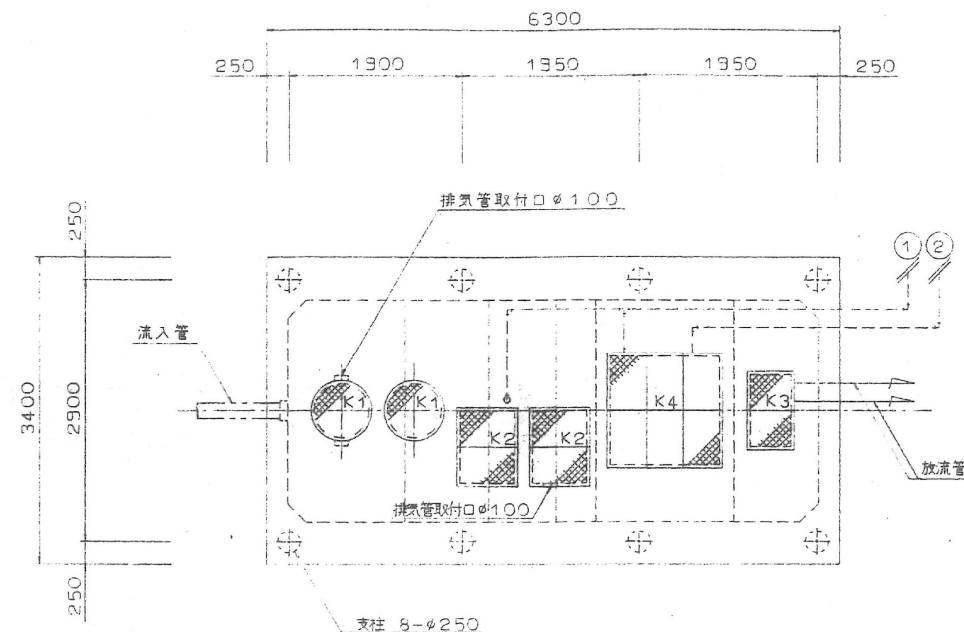
凡例及び仕様				様	備	考
○	給水管	水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管	(HIVP) JWA K 118			
〃	〃	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	(VLP) (VB)			図示部分
○	排水管	硬質塩化ビニル管	(VP) JIS K 6741			
○	〃	硬質塩化ビニル管	(VU) JIS K 6741			屋外埋設部
○	通気管	硬質塩化ビニル管	(VP) JIS K 6741			
—x—	消火管	配管用炭素鋼管(白)	(SGP) JIS G 3452			
〃	〃	硬質塩化ビニル外面ライニング鋼管	(SGCP)			地中埋設部
—o—	ガス管	配管用炭素鋼管(白)	(SGP) JIS G 3452			
〃	〃	硬質塩化ビニル外面ライニング鋼管	(SGCP)			地中埋設部
—l—	給湯管	耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	(HTLP)			
〃	〃	耐熱性硬質塩化ビニル管	(HTP)			
〃	〃	銅管	(CUP) JIS H 3300			
〃	〃	被覆断熱鋼管	(M型)			
—A—	エアー管	配管用炭素鋼管(白)	(SGP) JIS G 3452			
○	水量器(1)	40mm 副止水栓 40mm 収納BOX共				加入金・公道接続費含む。
○	水量器(2)	〃 副止水栓 〃 収納BOX共				私設メーター
○	給水栓					
□	給水栓	塩ビ製水栓柱				
■	給湯栓					
■	混合栓					
■	シャワー					
○	排水栓	鋳鉄製BOX共				
○	弁類					
○	排水金物					
○	床清掃除口					
○	ベントキャップ	アルミ製 埋設形				
⊕	〃	〃 露出型				
□(1)	汚水樹	300×300×MH B300 樹は既製品	インバート樹			
○	□(2)	〃	450×450×MH B450 樹は既製品	インバート樹		
○	□(3)	〃	600×600×MH B600 樹は既製品	インバート樹		
□(4)	〃	350×350×MH A350 現場打ち樹	インバート樹 SC-1			
○	□(5)	〃	450×450×MH A450 現場打ち樹	インバート樹 SC-2		
○	□(6)	〃	600×600×MH A600 現場打ち樹	インバート樹 SC-3		
□(1)	排水樹	300×300×MH B300 樹は既製品	溜め樹			
□(2)	〃	450×450×MH B450 樹は既製品	溜め樹			
□(3)	〃	600×600×MH B600 樹は既製品	溜め樹			
□(4)	〃	350×350×MH A350 現場打ち樹	溜め樹 RC-1			
□(5)	〃	450×450×MH A450 現場打ち樹	溜め樹 RC-2			
□(6)	〃	600×600×MH A600 現場打ち樹	溜め樹 RC-3			
□(7)	〃	300×300×フレック 蓋 樹は既製品	溜め樹			
□(8)	〃	1200φ ×MH A600 現場打ち樹	溜め樹 RC-5			
■	チェックコック	ヒューズコック 単口 ボックス共				
●	ガスコック	ヒューズコック 単口 LB				
	消火栓箱	総合型 定圧定量弁、ノズル、ホース、他付属品一式共	HB-1A			埋込形
	〃	総合型 定圧定量弁、ノズル、ホース、他付属品一式共	HB-1B			露出形
特 記				※ ○印のついたものを使用する。		



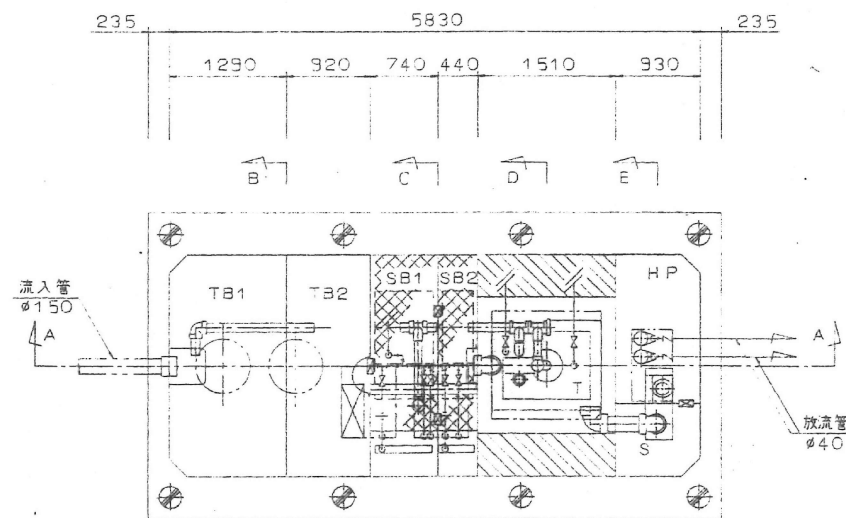
便所詳細図 S=1:100

女子便所	
C750C	2
U308C	1
T5A-50	1
男子便所	
C750C	1
U307C	3
SK22A	1
T110BU1	1
T5A-50	1
COA-100	1
"-65	1
洗面	
L221D	4
COA-50	1
身障者便所	
C48AS	1
L103D	1
T110BCR1	1
T110BML1	1
T5A-40	1
COA-100	1
"-50	1
外部	
T27C-13	2

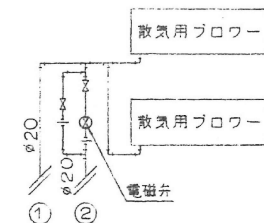
IZUMI SEKKEISHITU		工事名称	立岩区画排水機場改良関連工事	図面名称	便所詳細図	縮尺	1/100
		(株) 泉設計室		1級建築士登録 第237012号 管理建築士 泉 真治			
		〒772-0002 徳島県鳴門市撫養町斉田字浜端西6-1	TEL・FAX 088-685-9345	事務所登録番号 徳島県知事登録第51049号			W-02



スラブ平面図 1:100



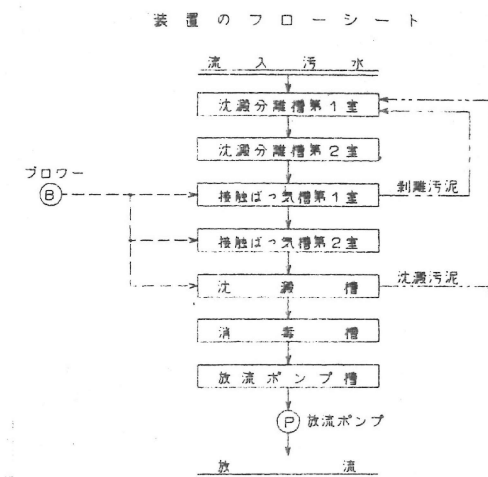
槽内部平面図 1:100



(人員算定)  $n = 16$   
 $= 16 \times 8 = 128$   
 (認定浄化槽 140人槽相当)

(汚水量算定)  
 1人  $128 \times 0.05 \text{ m}^3/\text{人} = 6.4 \text{ m}^3/\text{日}$   
 予備  $6 \text{ 台} \times 0.005 \text{ m}^3/\text{台} \times 20 \text{ 回}/\text{日} \times 1 \text{ 台} = 0.6 \text{ m}^3/\text{日}$   
 $6.4 + 0.6 = 7 \text{ m}^3/\text{日}$  (認定浄化槽 7.12 m<sup>3</sup>/日相当)

型式 CX 6-140-A  
 機種 59 BASP-1

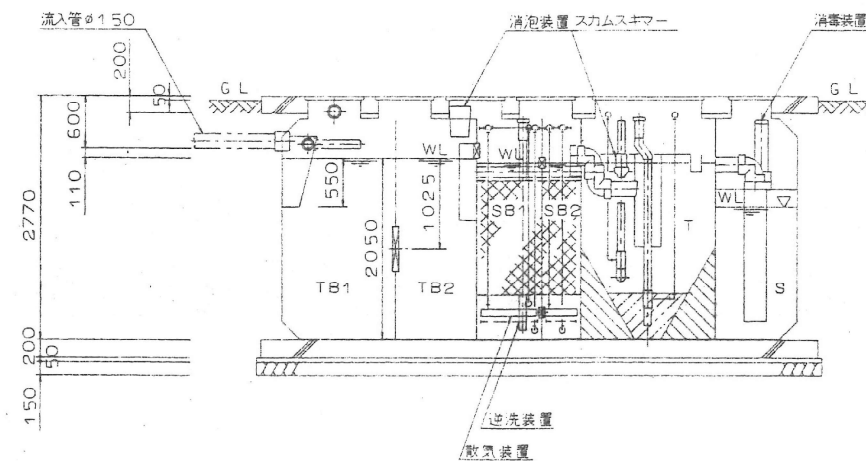


図面の槽本体表示寸法は内寸法です  
 C X 型槽本体の長辺の外寸法は内寸法 + 90mm です

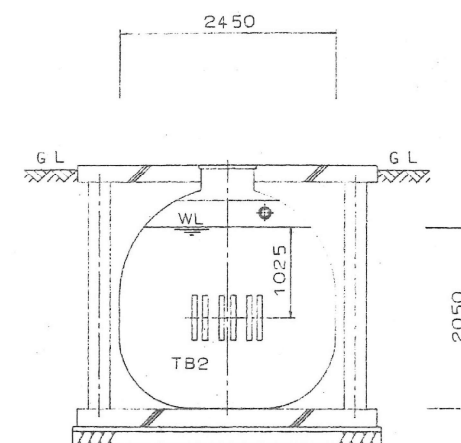
仕様表			
処理方式	接触ばっ気方式 (沈澱分離方式) 建設省告示第1292号第2第2号		
処理対象人員	140 人		
計画汚水量	7.12 m <sup>3</sup> /日		
排水時間	12 時間		
流入BOD	300 PPM		
放流BOD	60 PPM		
可 動 部	第1室 T81	5.830 m <sup>3</sup>	
	第2室 T82	4.242 m <sup>3</sup>	
	合 計	10.072 m <sup>3</sup>	
	第1室 SB1	3.377 m <sup>3</sup>	
等 槽	第2室 SB2	2.009 m <sup>3</sup>	
	合 計	5.385 m <sup>3</sup>	
	有効容量	3.004 m <sup>3</sup>	
	水面積	2.280 m <sup>2</sup>	
流 量	超流せき長	3.200 m	
	消毒槽 S	0.947 m <sup>3</sup>	
	放流ポンプ槽 HP	1.967 m <sup>3</sup>	
	口径能力出力台数		
機 器 仕 様	mm	m <sup>3</sup> /分	kw
	散気用ブロー	20	0.246 0.30 2
機 器 仕 様	放流ポンプ	40	0.120 0.25 2

マンホール・点検口蓋仕様		
記号	寸法 (mm)	個数
K1	φ600	2
K2	600×800	2
K3	450×800	1
K4	1200×1200	1

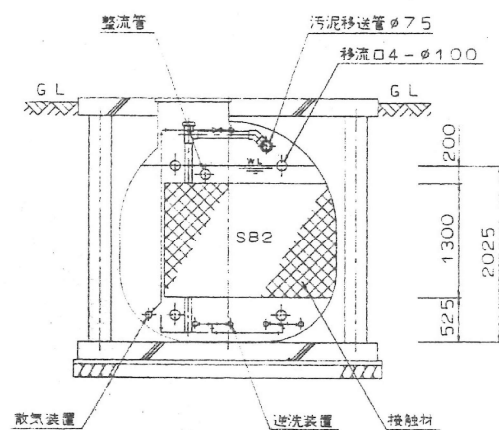




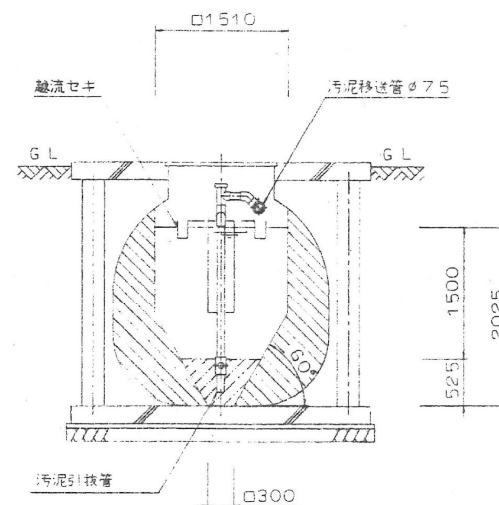
A - A 断面図 1:100



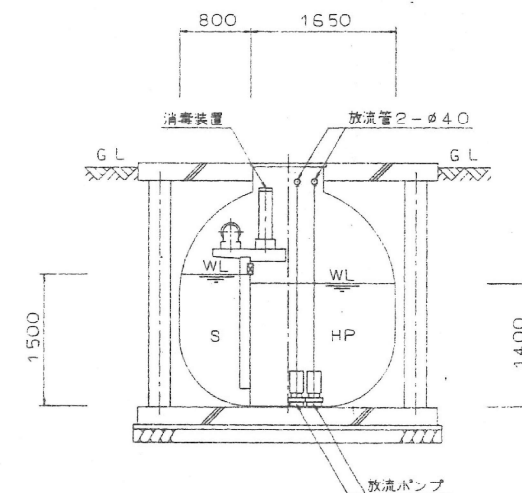
B - 断面図 1:100



C - 断面図 1:100

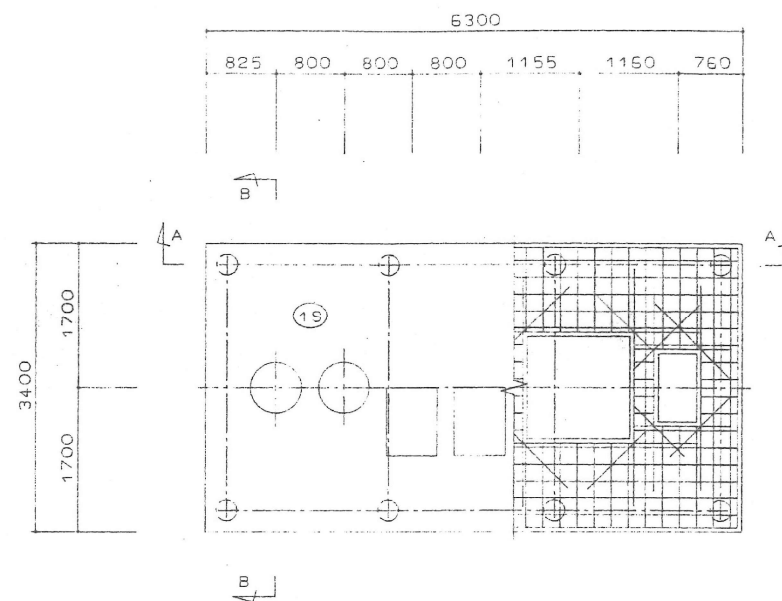


D - 断面図 1:100



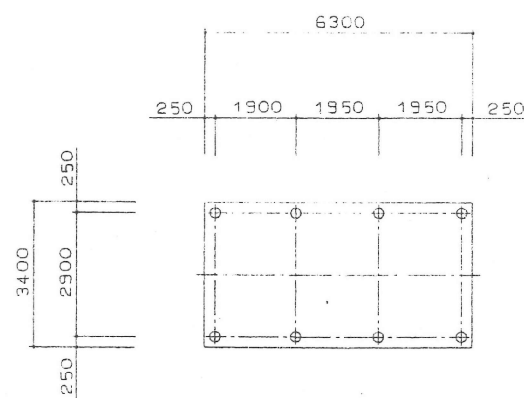
E - 断面図 1:100

	IZUMI SEKKEISHITU	工事名称	立岩区画排水機場改良関連工事	図面名称	浄化槽詳細図(2)	縮尺	1/100
		(株) 泉設計室	〒772-0002 徳島県鳴門市撫養町斉田字浜端西6-1	1級建築士登録 第237012号 管理建築士 泉 真治	事務所登録番号 徳島県知事登録第51049号		W-04

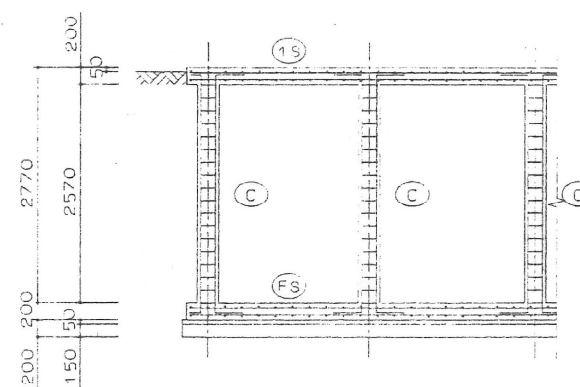


スラブ配筋図 1:100

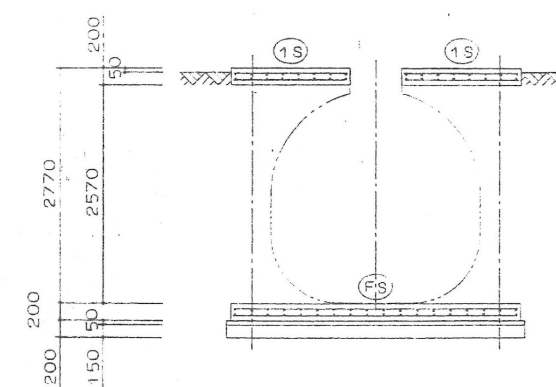
符 号	部 材	形 状	配 筋 仕 様
1S	スラブ	版厚200	主 筋 : D13-@200ダブル 副 筋 : D13-@200ダブル 開口部補強筋 : 2-D16
FS	基礎底盤	版厚200	主 筋 : D13-@200ダブル 副 筋 : D13-@200ダブル
C	柱	φ250	主 筋 : 4-D16 帯 筋 : D10-@150 幅止め筋 : D10-@600
一 般 事 項		コンクリート : $F_c = 210 \text{ Kg/cm}^2$	
		鉄 筋 : SD30A	
		定着及び継手 : 40d	



基礎伏図 1:200

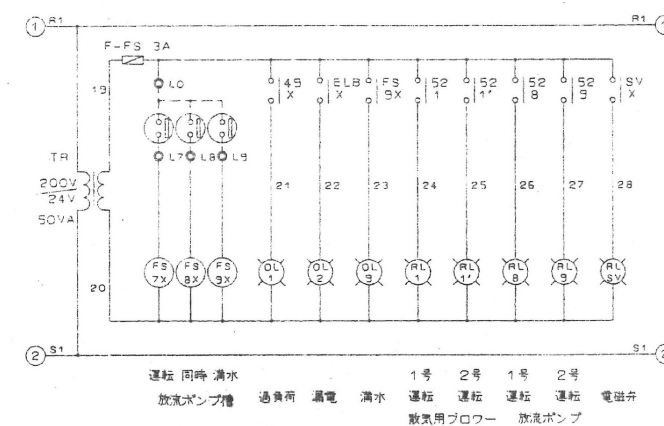
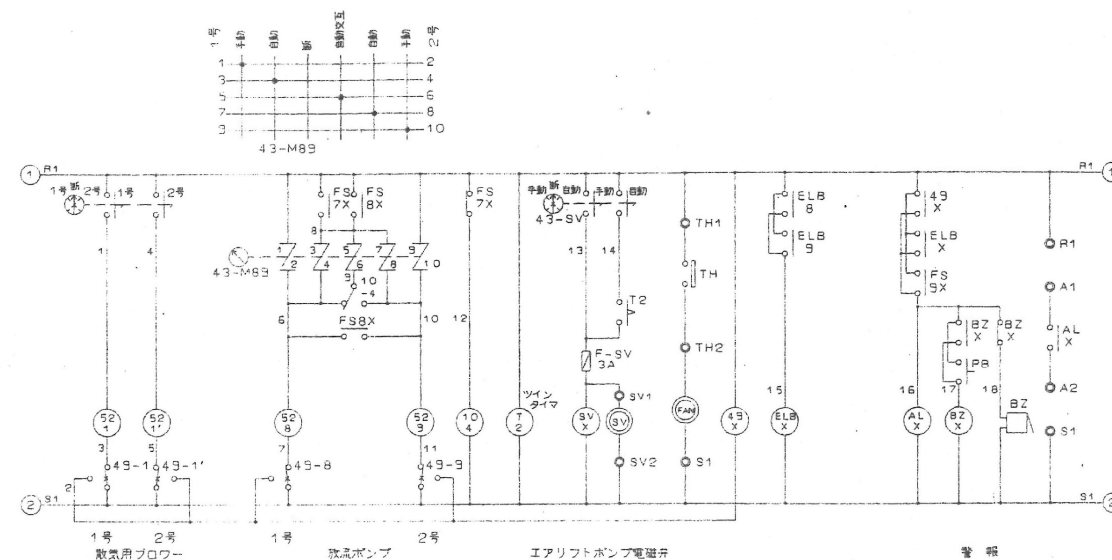
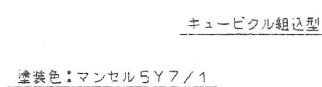


A-A断面配筋図 1:100



B-B断面配筋図 1:100

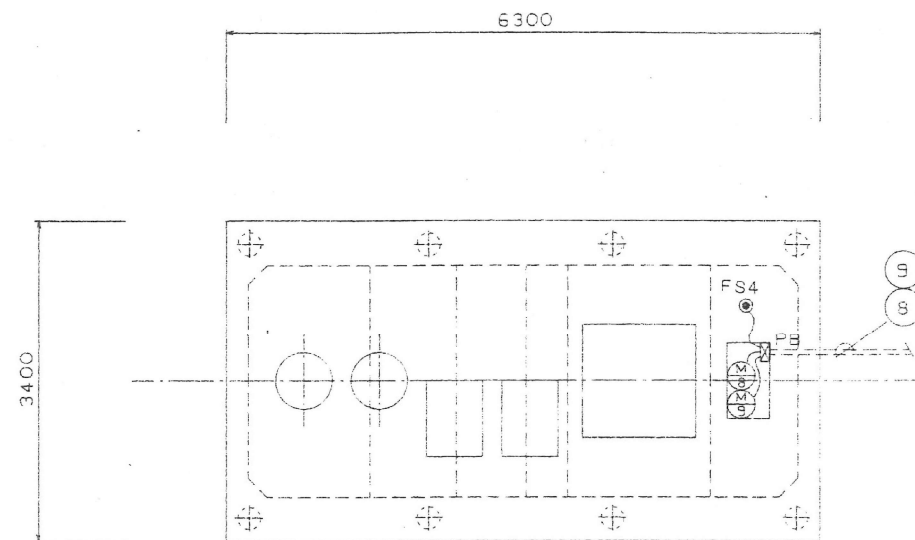
IZUMI SEKKEISHITU		工事名称	立岩区画排水機場改良関連工事	図面名称	浄化槽詳細図(3)	縮尺	1/100
		(株)泉設計室 〒772-0002 徳島県鳴門市撫養町斉田字浜端西6-1		1級建築士登録 第237012号 管理建築士 泉 真治 事務所登録番号 徳島県知事登録第51049号			W-05
		TEL・FAX 088-685-9345					



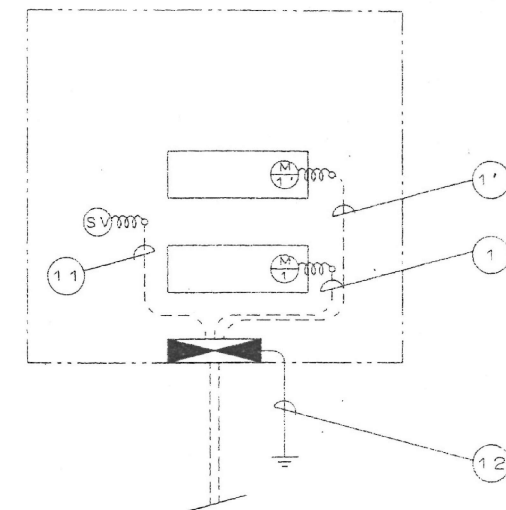
外部接続端子

入力電源	R S T E	U1 V1 W1 U1' V1' W1' E	U6 V6 W6 U6' V6' W6' E	U9 V9 W9 U9' V9' W9' E	S1 SV2 L0 L7 L8 L9 H1 A1 A2 S1
		放気用ブロー	放流ポンプ	電磁弁	放流槽フロートスイッチ

	IZUMI SEKKEISHITU	工事名称	立 岩 区 画 排 水 機 場 改 良 関 連 工 事	図面名称	浄 化 槽 詳 細 図 （ 4 ）	縮尺	—
		(株)泉設計室 〒772-0002 徳島県鳴門市撫養町斉田字浜端西6-1 TEL・FAX 088-685-9345		1級建築士登録 第237012号 管理建築士 泉 真治 事務所登録番号 徳島県知事登録第51049号			W-06



電気工事図



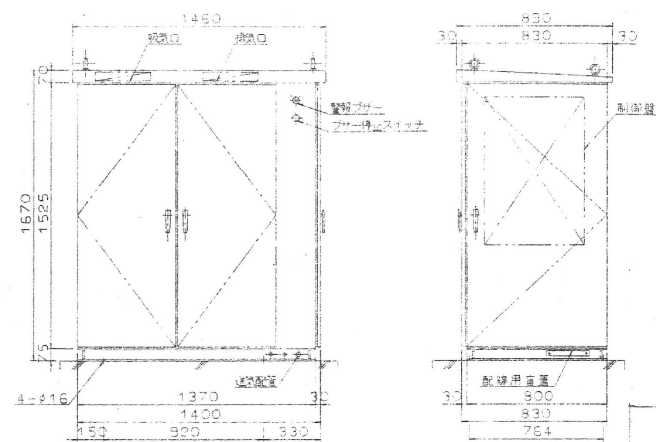
注) 機械室はキュービクルとする。  
キュービクル内は配線済み。

特記事項

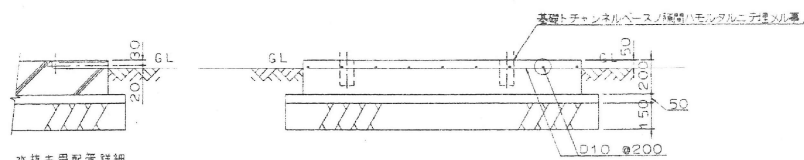
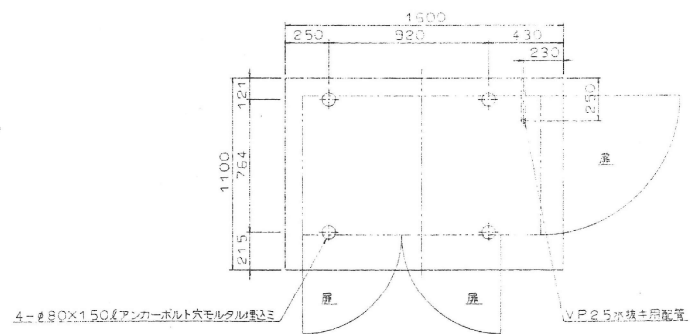
- 1 配管は原則として打ち込み配管とする。
- 2 配管材は硬質塩化ビニル管（HIVE）とする。
- 3 プルボックスは耐酸防水型（PVC製）とする。
- 4 一次側及び外部警報用配線配管工事は別途工事とする。

符号	機器記号	機器名称	出力	電線	電線管径
1	M1	散気用ブロー1号	0.30KW	CV2φ 4C×1	22
1'	M1'	散気用ブロー2号	0.30KW	CV2φ 4C×1	22
8	M8	放流ポンプ1号	0.25KW	CV2φ 4C×1	28
	M9	放流ポンプ2号	0.25KW	CV2φ 4C×1	
9	FS4	フロートスイッチ（3個）	—	CVV2φ 4C×1	22
11	SV	電磁弁	—	CVV2φ 2C×1	16
12	制御盤接地線（第3種）		—	CV3.5φ 1C×1	16

	IZUMI SEKKEISHITU	工事名称	立岩区画排水機場改良関連工事	図面名称	浄化槽詳細図（5）	縮尺	—
		(株) 泉設計室 〒772-0002 徳島県鳴門市撫養町斉田字浜端西6-1		1級建築士登録 第237012号 管理建築士 泉 真治 事務所登録番号 徳島県知事登録第51049号			W-07
		TEL・FAX 088-685-9345					

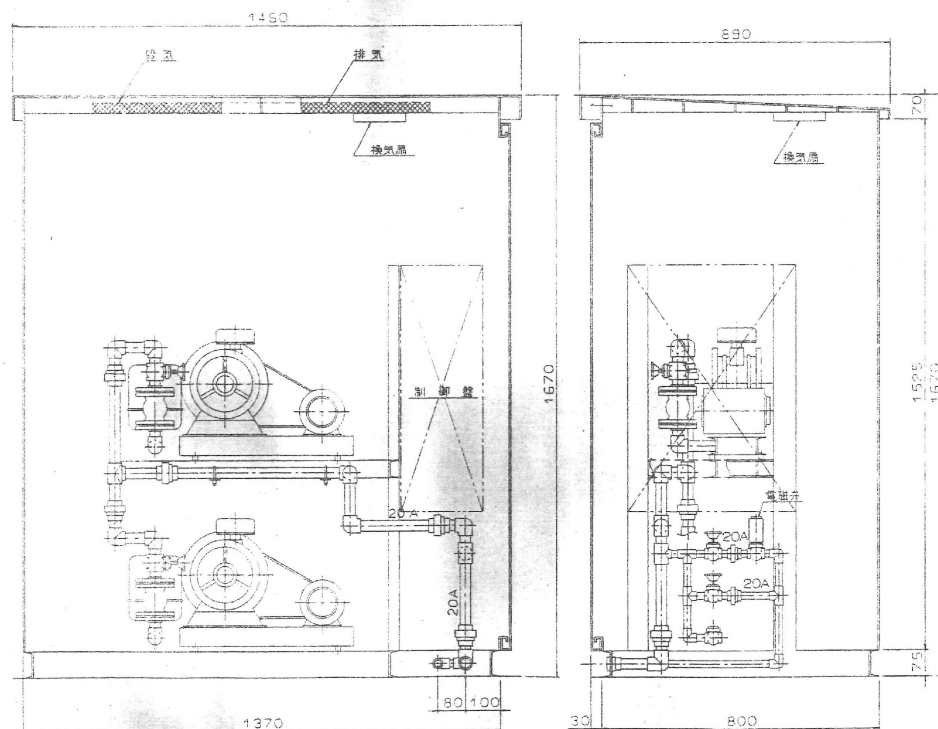


キュービクル外形図 1:40



基礎図 1:40

製作仕様	
鋼板	2.3t
チャンネルベース	C75×40×5t
塗装色	SY 7/1
構造	屋外防水型
室内	ガラスウール25mm厚クロス貼り



内部詳細図 1:20

IZUMI SEKKEISHITU		工事名称	立岩区画排水機場改良関連工事	図面名称	浄化槽詳細図(6)	縮尺	1/20、1/40
		(株)泉設計室		1級建築士登録 第237012号 管理建築士 泉 真治			
		〒772-0002 徳島県鳴門市撫養町斉田字浜端西6-1	TEL・FAX 088-685-9345	事務所登録番号 徳島県知事登録第51049号			
							W-08